モバイルコンピュータ

# WinBook **Trim**

P2P133

## 活用ガイド

SOTEC

# WinBook Trim
# 活用ガイド

## はじめに

このたびは、WinBook Trimをお買い求めいただき、ありがとうございます。
この活用ガイドはWinBook Trimのハードウェアと基本的な使い方を説明しています。ご使用の前に活用ガイドをよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必ず保管してください。
本機には、以下の説明書が添付されています。

- 「活用ガイド」…本書です。基本的な操作方法、オプション装置の増設方法、トラブルが生じた場合の対処などが記載されています。
  本機をお使いの際は、はじめに必ず 本書をお読みください。

- 「ソフトウェアご使用の手引」…本機にプリインストールされているソフトウェアの基本的な使い方が記載されています。

- 「ファーストステップガイド」…Windows 95の説明書です。
  Windows 95の基本的な操作やいろいろな機能が紹介されています。

本書では、WinBook Trimを以下のように記述することがあります。
それぞれ意味が異なります。

本機　　：WinBook Trimを意味しています。
　（例）本機は、次のような特長を持つノートパソコンです。

本体装置：パソコン本体そのものを意味しています。
　（例）本体装置の背面にあるコネクタに接続します。

また、本文中の記号は以下の意味を示します。
　&：同時に操作する
　（例）[Ctrl] & [Alt] & [Delete]：CtrlキーとAltキーとDeleteキーを同時に押します。

株式会社ソーテック

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

本装置は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

- ●本書および本機は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、至急お買い求めの販売会社または別に添付されている問い合わせ窓口までご連絡ください。
- ●お客様または第三者が本機の使用誤りや使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 安全のために必ず守ること

使い始める前に、この説明をよく読んで、正しく取り扱ってください。

ここに示した注意事項は、安全に関する大切な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。 |
| ⚠注意 | 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの。 |
|  | 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。 |
|  | このマークの付いているイラストのように取り扱ってください。 |
|  | このマークの付いているイラストのように取り扱うことを禁止します。 |

# ⚠警告

■ACアダプターをご使用になる場合は、本機に付属の専用ACアダプターをご使用ください。また、本機以外には使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

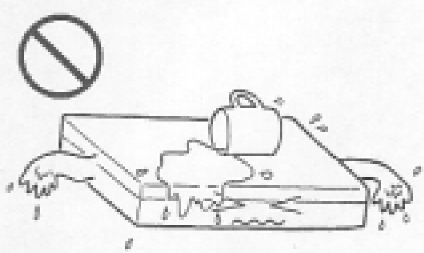
■ACアダプターは国内専用です。海外では使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

■ACアダプターの端子をショート（短絡）させないでください。
火傷や火災の原因になります。

■ACアダプターや液晶ディスプレイユニットの内部には高圧部分がありますので、絶対に分解しないでください。
火災や感電の原因になります。

■本体装置や付属品を雨、水、湿気にさらされる場所に放置しないでください。
火災や感電の原因になります。

■水やコーヒーなどの液体をこぼしたり、内部やすきまにクリップなどの金属片を落とさないでください。
火災や感電の原因になります。
万一、こぼしたり内部やすきまに金属片を落とした場合は、まず本体底面にあるOFF/ONボタンを押して確実に電源が切れていることを確認し、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。





# ⚠警告

■ケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、ACケーブルの上に物を載せたり、ケーブル類を足で踏むことがないようにしてください。
ケーブルの被覆が傷つき火災や感電の原因になります。

■本体装置や付属品を改造したり、分解しないでください。
火災や感電の原因になります。

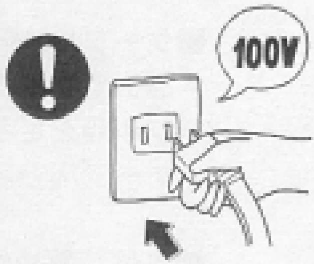


■煙が発生する、異常音がするなどの異常が発生した場合は、まず本体底面にあるOFF/ONボタンを押し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口に修理依頼をしてください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

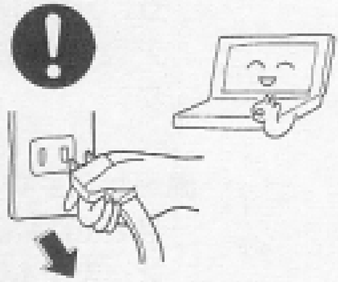
■使用中、本体装置底面が熱くなりますので本体装置をひざの上などに直接触れて使用しないでください。
低温やけど*を起こす場合があります。
＊低温やけどは、長時間にわたり一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに肌に紅斑、水泡などの症状をおこすやけどのことです。肌の弱い方などは、特にご注意ください。

■本体装置の電源を切った直後は本体内部が熱くなっていますので、増設メモリの取り付け・取り外しは本体装置が十分に冷えた後に行ってください。
やけどを起こす場合があります。

# ⚠注意

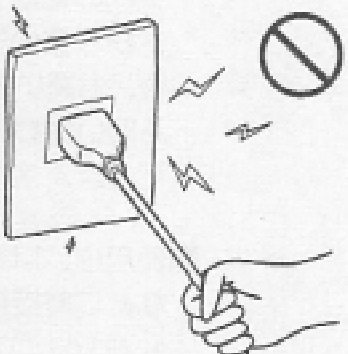



**■ACアダプターには一般家庭用電源（AC100V）をご使用ください。**
その他の電源を使用すると火災や故障の原因になります。



**■ACアダプターは次の注意に従って正しく取り扱ってください。**

・屋内でのみご使用ください。雨や水などにさらされると火災や感電の原因になります。
・ACアダプターを使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



**■ACケーブルや他のケーブル類は、次の注意に従って正しく取り扱ってください。**

・タコ足配線はやめてください。火災の原因になります。
・ACケーブルを外すときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

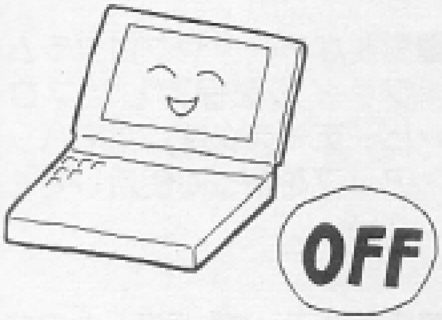
**■万一液晶ディスプレイが破損し、液晶（液体状）がもれた場合、液晶を口に入れたり、液晶の蒸気を吸い込んだりしないでください。**

・誤って口に入れた場合は、十分にうがいをしてください。
・液晶が皮膚や衣服などに付着した場合は、すぐに石鹸でよく洗い流してください。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄してください。
付着したままま放置すると、皮膚や衣服を傷めることがあります。

# 故障を防ぎ、快適にご使用いただくためのお願い

## 本体装置

■ケーブルの接続、取り外しは、必ず本体装置および接続機器の電源を切ってから行ってください。




■次のような場所で使用しないでください。故障の原因になります。

- ほこりの多い場所
- 湿度の高い場所
- 直射日光の当たる場所
- ヒーターなど発熱機器の近く
- 10℃以下または 35℃以上の温度になる場所
- 急激な温度変化のある場所
- 振動の激しい場所
- スピーカーなど強い磁場の近く

■電源を入れた後すぐに電源を切ったり、電源を切った後すぐに電源を入れたりしないでください。

ハードディスクの故障の原因になります。30秒以上待ってから行ってください。

■通電中は、風通しの悪い場所に置いたり布などをかけたりしないでください。加熱などにより故障の原因となります。



■ファイル等を作成するときは、ハードディスクやフロッピーディスクの残容量を確認してください。容量が不足している場合は、ファイル等を保存することができません。

■本体装置の上に物を置かないでください。故障の原因となります。

■取扱いはていねいにしてください。

本体装置やACアダプターを落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えたりしないでください。また、液晶ディスプレイを強く押したり、こすったりしないでください。キズがついたり、故障の原因となります。

■本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。しかし、ラジオやテレビジョン受信機に接近してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。受信障害がありましたら、次のような処置を行ってください。

・ラジオやテレビジョン受信機と本機を離してください。
・ラジオやテレビジョン受信機に対して本機の方向を変えてください。
・ラジオやテレビジョン受信機とは別系統のコンセントに本機のACケーブルを接続してください。

■冬期寒い戸外から急に暖かい室内に持ち込むと、結露することがあります。

結露した場合には、十分に乾燥させてから電源を入れてください。結露したまま電源を入れると故障の原因になります。

■バッテリーや液晶ディスプレイは消耗品です。バッテリーの動作時間が極端に短くなったり、液晶ディスプレイが暗くなりましたらお買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。

## フロッピーディスク

■重要なデータやプログラムのファイルを保存したフロッピーディスクは、常にバックアップをとって使用してください。

■重要なデータを保存したフロッピーディスクは、誤ってデータを消去してしまわないよう、タブを書き込み禁止の位置に動かすことをお奨めします。

■磁気や熱に近付けないでください。データ破壊の原因になります。

■フロッピーディスクにラベルを貼るときは、段差に沿って平らに貼ってください。正しく貼らないとフロッピーディスクの出し入れができなくなることがあります。

■フロッピーディスク使用中
3.5インチFDD装置のアクセスランプが付いているときは、フロッピーディスクを抜かないでください。データ破壊の原因になります。

## ハードディスク

■重要なデータやプログラムのファイルは、誤って消去しても被害が少なくて済むように、必ずバックアップをとることをお奨めします。

## 内蔵バッテリー

■バッテリーは消耗品です。
バッテリーの動作時間が極端に短くなりましたら、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。

## 日常のお手入れ

■日常のお手入れには、乾いたやわらかい布をご使用ください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色や変形、故障などの原因になります。

■フロッピーディスク使用中
3.5インチFDD装置のアクセスランプが付いているときは、フロッピーディスクを抜かないでください。データ破壊の原因になります。

## ハードディスク

■重要なデータやプログラムのファイルは、誤って消去しても被害が少なくて済むように、必ずバックアップをとることをお奨めします。

## 内蔵バッテリー

■バッテリーは消耗品です。
バッテリーの動作時間が極端に短くなりましたら、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。

## 日常のお手入れ

■日常のお手入れには、乾いたやわらかい布をご使用ください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色や変形、故障などの原因になります。

# 目　次

## 応用編



## 付　録

# 基　本　編

基本編

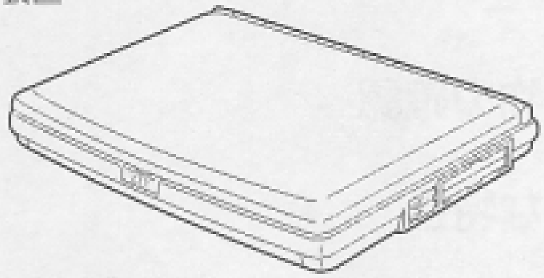
# 1 お使いになる前に

# 1-1　梱包物の確認

まず、箱からすべての部品を取り出してご確認ください。梱包材は、再輸送のためにに保存しておくことをお奨めします。
万一、梱包物が不足していたり破損していたりしたときは、すぐにお買い求めの販売会社にご連絡ください。

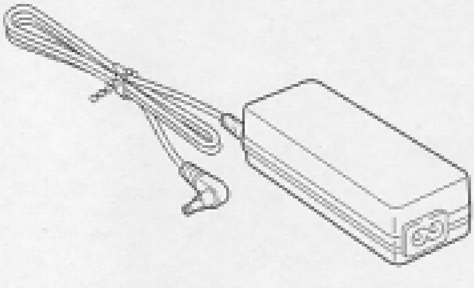
■梱包物

□本体装置

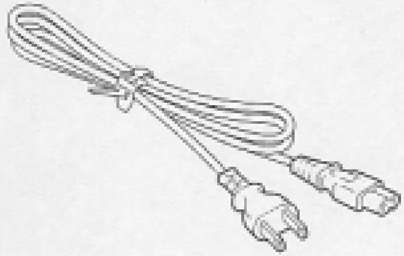


WinBook Trim

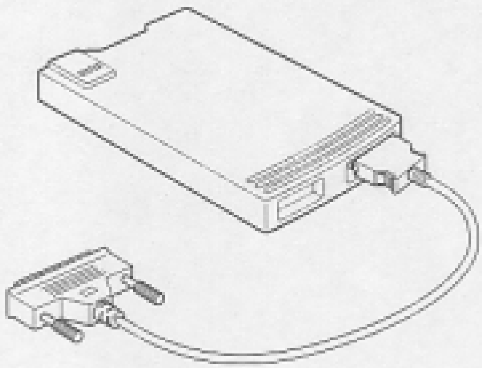
□ACアダプター



□ACケーブル



□3.5インチFDD装置



□キャップ（2個）



□活用ガイド（本書）、ソフトウェアご使用の手引



□ Windows95 マニュアル・パッケージ




□汎用ディスクラベル

□本体装置の保証書

□お客様登録カード、テックサポートFAXシート

□プリインストールソフトウェアのマニュアル／登録書類

**補足**

本製品にはWindows 95のインストール用CDが添付されておりますが本機特有のドライバやユーティリティはCDには含まれておりません。万一のトラブルに備え、再インストール用のシステムディスクを作成してください。フロッピーディスク（3.5インチ 2HD 1.44MB）は市販のものをご用意ください。
詳しくは、『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。

# 1-2 おもな特長

本機は、次のような特長をもつノートパソコンです。

## ■高速でありながら携帯性のよいコンパクト設計です

CPUとして、Pentium®を搭載し高速化をはかりました。
また、サイズはA5ファイルサイズで、携帯性に優れたノートパソコンです。

## ■大容量ハードディスクと、EDOメモリー搭載

大容量のハードディスクと高速なEDOメモリーを搭載しています。
さらにメモリーは、オプションの増設メモリーキットで容量を増やすことができます。

## ■簡単に使いはじめられます

出荷時に基本ソフトウェア（Windows95）を、ハードディスクにプリインストールしてありますので、簡単に使いはじめることができます。

## ■ポインティング操作が指先で行えます

本体装置のキーボード中央には、スティックポインターが標準で取り付けてあります。Windowsでマウスと同じ操作が行えます。

## ■赤外線通信をサポートしています

赤外線通信機能（IrDA1.1準拠）を持つパソコンや周辺機器（プリンター等）と、ワイヤレスでデータ通信やファイル転送が行えます。

## ■多彩なシステムアップができます

PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2準拠のスロットを2基標準装備しています。PCカードで、デスクトップパソコンの拡張ボードと同等の機能拡張を実現できます。

## ■外部ディスプレイとの同時表示が可能です

本体装置の液晶ディスプレイと外部カラーディスプレイ装置との同時表示が可能です。プレゼンテーションの場などで活用いただけます。

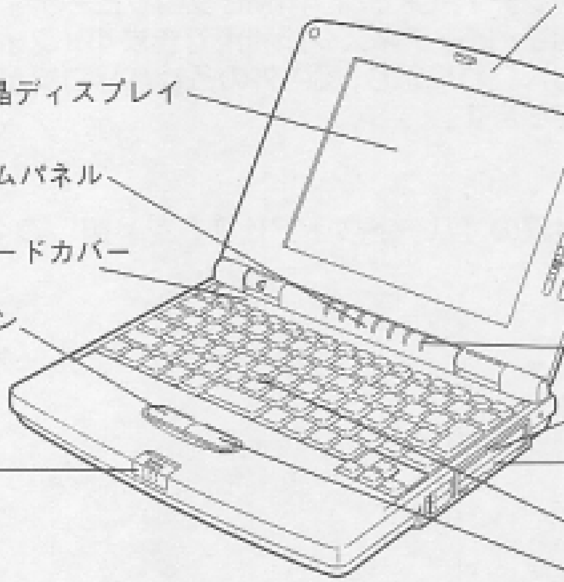
■3モードフロッピーディスクをサポートしています

従来の3.5インチ720KB/1.44MBフロッピーディスクに加え1.2MBフロッピーディスクが利用できます（フォーマットはできません）。これにより、国内外の各社パソコンとのデータ交換が実現できます。

詳細な仕様は付録の『ハードウェア仕様』を参照してください。

# 1-3　各部の名称と働き

■本体装置（前面、右側面）




**①輝度ボリューム**

液晶ディスプレイの明るさを調節します。上にずらすほど明るくなります。

**②コントラストボリューム**

液晶ディスプレイのコントラストを調節します。上にずらすほどコントラストは淡くなります。

**③内蔵マイク**

音声が入力できます。

**④PC カードスロット1（上側）**

TypeⅡ PCカード用です。PCMCIA2.1/JEIDA4.2に準拠しています。

**⑤PC カードスロット0（下側）**

TypeⅡまたはTypeⅢPCカード用です。PCMCIA2.1/JEIDA4.2に準拠しています。

**⑥スティックポインター**

マウスカーソルのポインティング操作ができます。
詳しくは基本編2-4節を参照してください。

**⑦右ボタン**

スティックポインターのボタンで、マウスの右ボタンに対応しています。

**⑧ラッチ**

液晶ディスプレイユニットを開けるときにここを押します。

**⑨左ボタン**

スティックポインターのボタンで、マウスの左ボタンに対応しています。

**⑩キーボードカバー**

増設メモリーを交換する場合に取り外します。詳しくは応用編2章を参照してください。

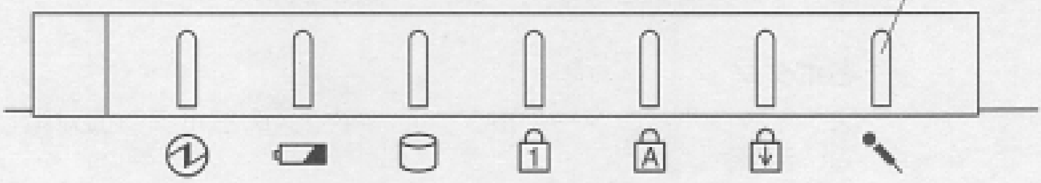
**⑪システムパネル**

次ページを参照してください。

**⑫液晶ディスプレイ（LCD）**

7.5インチDFPassiveカラーLCDを採用しています。

■システムパネル




電源ランプ（緑色）

| 電源ランプ | システムの状態 |
|---|---|
| 点灯 | 電源が入っている |
| 消灯 | 電源が切れているまたはサスペンド |

バッテリーランプ（緑色／オレンジ色）

| | バッテリーランプ | 状態（数値は大まかな目安） |
|---|---|---|
| バッテリー使用時 | 緑色で点灯 | バッテリーの残量31～100% |
| | 緑色で低速点滅 | バッテリーの残量11～30% |
| | 緑色で中速点滅 | バッテリーの残量 0～10% |
| | 消灯 | 電源が切れている |
| バッテリー充電時（AC アダプター使用） | オレンジ色で中速点滅 | バッテリーの充電レベル0~69% |
| | オレンジ色で低速点滅 | バッテリーの充電レベル70~99% |
| | オレンジ色で点灯 | 充電終了 |

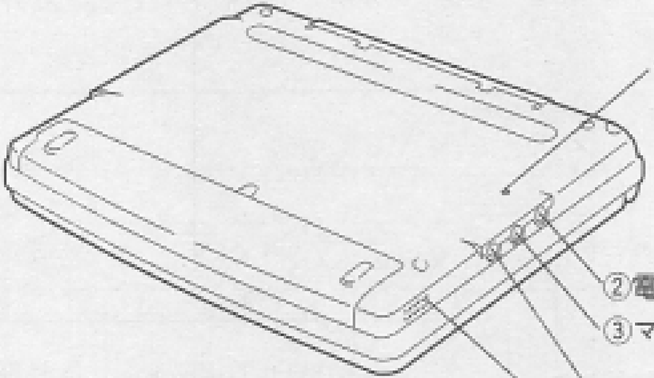
ハードディスクランプ（緑色）
ハードディスクへアクセス中、点灯します。

Num Lockランプ（緑色）
Num Lockが有効なとき、点灯します。

Caps Lockランプ（緑色）
Caps Lockが有効なとき、点灯します。

Scroll Lockランプ（緑色）
Scroll Lockが有効なとき、点灯します。

■本体装置（左側面・底面）




### ①OFF/ON ボタン

システムの電源を強制的にOFFまたはONする際に使用します。穴にペン先などを差し込んでスイッチを押します。
詳しくは、基本編2-2節を参照してください。

### ②電源ボタン

本体装置の電源を入れたり、サスペンドモードへの移行・復帰を行います。詳しくは基本編5-1節を参照してください。

### ③マイク入力端子

マイクを接続できます。

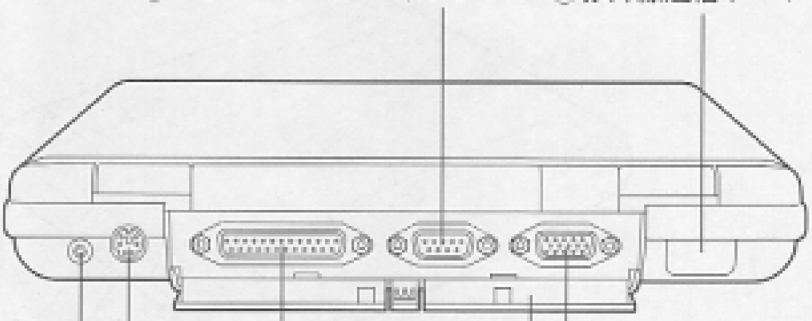
### ④オーディオ出力端子

ヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーを接続できます。

### ⑤内蔵スピーカー

モノラル音声を出力します。

■本体装置（後面）




① **DC-IN コネクター**
ACアダプターを接続します。

② **外部キーボード／テンキーパッド／マウスコネクター**
外部キーボード、テンキーパッド、マウスのいずれかが取り付けられます。
マウスとテンキーパッドまたは外部キーボードとを同時に使用する場合は、市販のキーボード・マウス分配コネクターを接続してください。

③ **パラレルポートコネクター**
プリンターまたは3.5インチFDD装置が取り付けられます。

④ **シリアルポートコネクター**
RS-232Cインタフェースを持つ機器が取り付けられます。

⑤ **外部ディスプレイ装置用コネクター**
外部カラーディスプレイ装置が取り付けられます。

**⑥赤外線通信ポート**

赤外線通信を行うとき、この部分を相手パソコン等の赤外線通信ポートと向かい合わせにします。

**⑦コネクターカバー**

本体底面に置くことでキーボードのチルトアップができます。詳しくは基本編 2-3 節を参照してください。

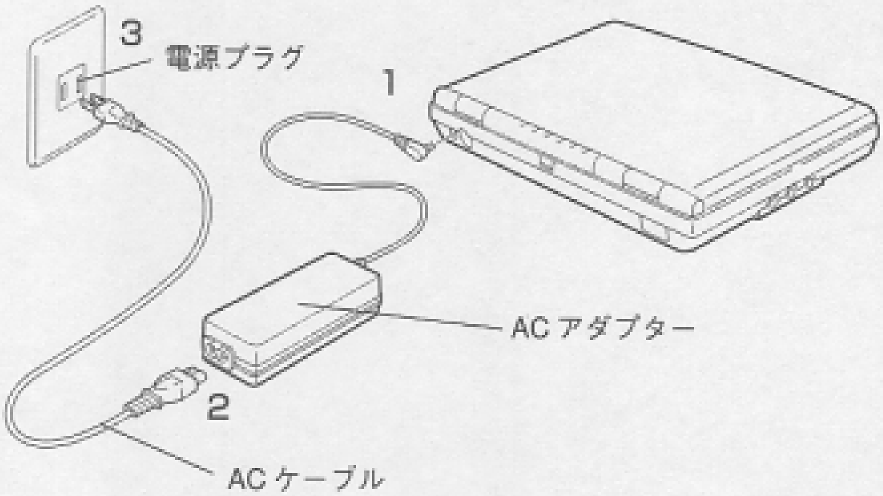
# 1-4　本体装置の準備

## ■ACアダプターの接続

1 ACアダプターを本体装置背面にあるDC-INコネクターに接続します。

2 ACアダプターとACケーブルを接続します。

3 ACケーブルの電源プラグをコンセントに差し込みます。これでACアダプターの接続は完了です。




**⚠注意**

AC100Vの電源を使用してください。その他の電源を使用すると火災や故障の原因になります。

4 システムパネルのバッテリーランプ（オレンジ色）が点滅を始めます。点滅が終わり点灯するまで充電し続けてください。（内蔵バッテリーの充電については基本編4-2節を参照してください。）

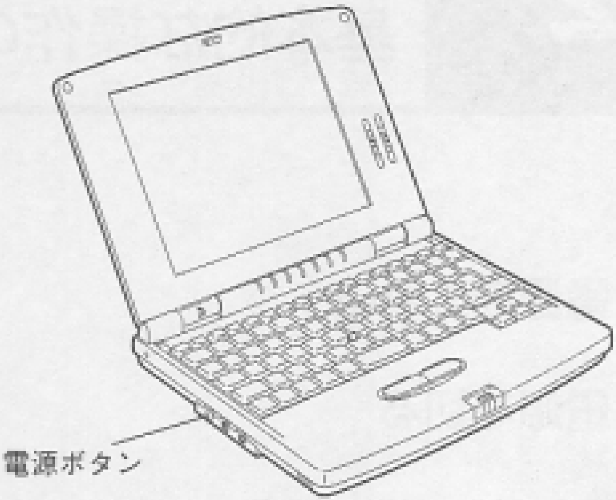
**補足**

充電完了後、ACアダプターを抜き差しすると、充電レベルが100%になっているにもかかわらず、バッテリーランプが点滅し始める場合があります。

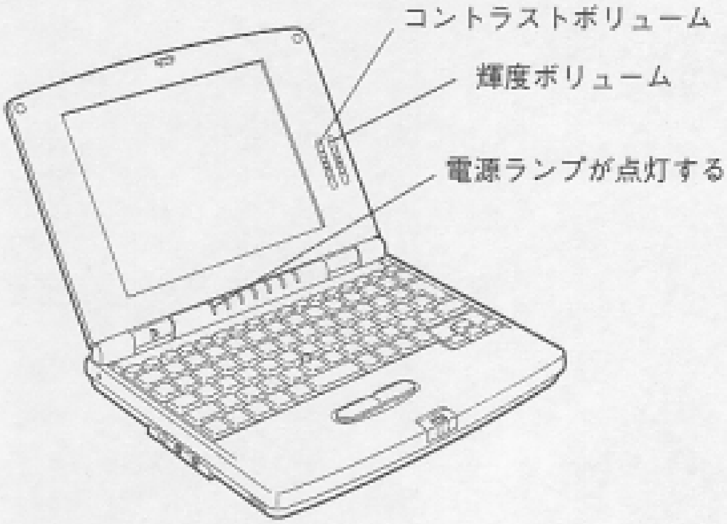
# 2 基本的な操作のしかた

# 2-1　電源を入れる

1　本体装置左側面の電源ボタンを1～2秒間押します。




2　電源ランプが点灯し、Windows 95の起動処理が始まり、しばらくのあいだ各種のメッセージが表示されます。表示が見やすいように液晶ディスプレイユニットの角度や輝度ボリューム、コントラストボリュームを調節してください。



補足

・はじめて電源を入れたときは、Windows 95起動時に使用許諾の承認等を行う必要があります。詳しくは『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。
・前回電源を切ったときに、サスペンドモードへ移行した場合、上記操作を行うと電源を切る前の状態に復帰します。
詳しくは基本編2-2節を参照してください。

# 2-2 電源を切る

本体装置の電源が切れた状態には、ディスクサスペンドモードと電源オフの2つの状態があります。どちらかの状態に移行することで電源が切れます。

・電源オフに移行する方法
　電源を切る前にユーザーがデータをハードディスクに保存し、Windowsを終了する方法です。**ネットワークを使用している場合は、ディスクサスペンドモードでは接続状態が復帰できないことがあるため、この方法を使用してください。**

・ディスクサスペンドモードに移行する方法
　作業中のデータがハードディスクに自動保存され、次回の起動時には電源を切る前の状態に復帰します。この方法では、電源を切る前にWindowsやアプリケーションを終了したり、作業途中のデータを保存したりする必要はありません。

サスペンドモードについては、基本編5章を参照してください。

**補足**

次のような状態になった場合にはOFF/ONボタンを使用します。
・キーボードからのキー入力ができない。
・スティックポインターやマウスでの操作ができない。
・ソフトウェアリセット（[Ctrl]&[Alt]&[Delete]）でリセットできない。
OFF/ONボタンは強制的に電源を切るのでWindows正常起動中はむやみに使用しないでください。

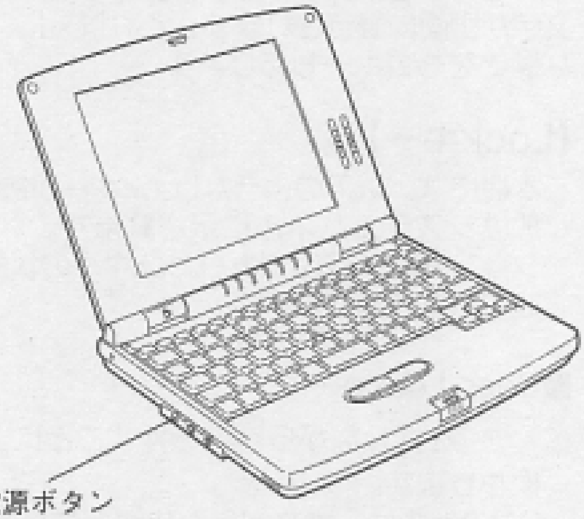
### ■電源オフに移行する方法

1　すべてのアプリケーションとWindowsを終了します。

2　Windowsを終了した時点で自動的に電源オフになります。何らかの原因でWindowsが終了できなかった場合はOFF/ONボタンにより電源オフしてください。

### ■ディスクサスペンドモードに移行する方法

1　電源ボタンを押します。




**補足**

作業中のデータがハードディスクに保存され電源が切れるまで約10秒かかります。また、本体装置の移動は電源が切れた後に行ってください。

# 2-3 キーボードを使う



キーを押すと、文字、数字、記号などキーの表面に記されている文字が画面に表示されます。これ以外に、以下に示すような特殊な働きをもつキーもあります。

## 【Lockキー】

本機には、以下のようなLockキーがあります。Lockキーの状態はシステムパネルに示されます。なお、一部のアプリケーションプログラムには、Lockキーの状態を表示する機能を持つものもあります。

### ■Caps Lockキー

[⇧Shift]を押しながら[Caps Lock]を押すことによってONとOFFが切り換わります。
ONのときは、大文字入力状態となります。OFFのときは小文字入力状態となります。

### ■Scroll Lockキー

[Fn]を押しながら[Scroll Lock]を押すことによって、スクロールのONとOFFが切り換わります。
このキーは特定のソフトウェアだけで動作します。

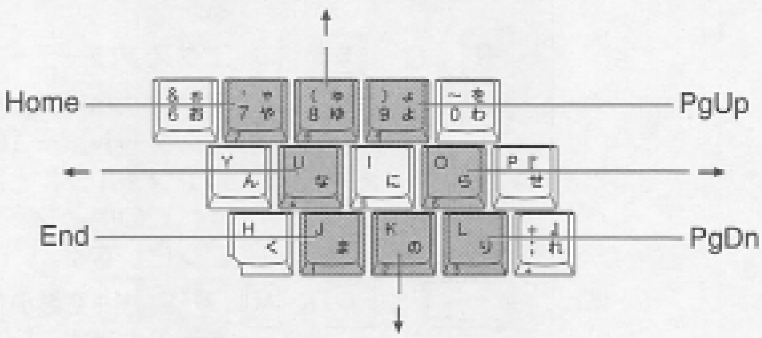
## ■Num Lock キー

[Num Lock]を押すことによって、テンキー機能のONとOFFが切り換わります。
ONのときは、キーボードの一部をテンキーとして使用できます。



●キー手前に青色で表示された数字や記号が入力されます。

●[Shift]を押しながらテンキーのキーを押すと、キーの役割が下図のように変わり、カーソルを移動できます。




●テンキー機能が ONの状態で、[Fn]を押しながらテンキーのキーを押すと、テンキー機能がOFFの状態と同じ入力ができます。

## 【Windows95 キー】

キーボードにはWindows95専用のキーが2個あります。

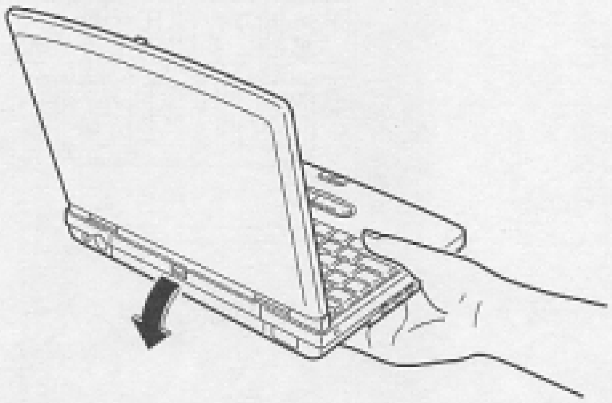


| キー | 機　能 |
|---|---|
| Windows ロゴキー | このキーを押しながら別のキーを同時に押すことで以下のことが行えます。<br>・　スタートボタンをクリックするのと同じ。<br>・　& Tab　タスクバーに表示されている順にアプリケーションをアクティブにする。<br>・　& E　エクスプローラーを起動する。<br>・　& F　ファイルやフォルダを検索する（[スタート] − [検索] − [ファイルやフォルダ] と同じ）。<br>・　& M　すべてのウィンドウを最小化（アイコン化）する。<br>・Shift &　& M　　& M で最小化したウィンドウを元の大きさに戻す。<br>・　& R　ファイル名を指定して実行（[スタート] − [ファイル名を指定して実行] と同じ）。 |
| アプリケーション・キー | 各種メニューを表示します。スティックポインターやマウスの右クリックと同じです。表示されるメニューの種類は、現在何が選択されているかによって異なります。 |

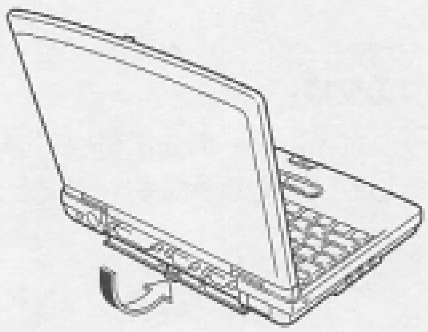
## 【チルト機能】

コネクターカバーを使ってキーボードを傾けることができ、快適なタイピングが行えます。

1　本体を少し持ち上げて本体背面のコネクターカバーを開けます。



2　本体の下にコネクターカバーを置くと、キーボードが傾きます。



**補足**

キーボードを水平にするときは、上記と逆の手順でコネクターカバーを元の位置に閉じます。

# 2-4 スティックポインターを使う

スティックポインターは、PS/2マウス互換のポインティングデバイスです。指先でキーボード中央にあるスティックを傾けるように押すことにより、マウスと同様に使用することができます。



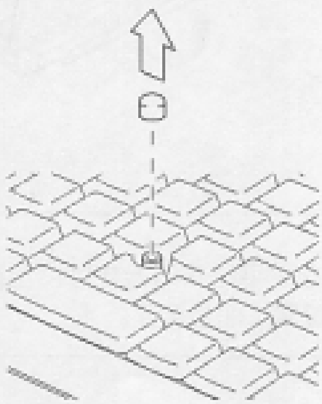

スティックを押した方向にマウスカーソルが移動します。

**補足**

カーソルの移動速度の調節はWindowsで行えます。

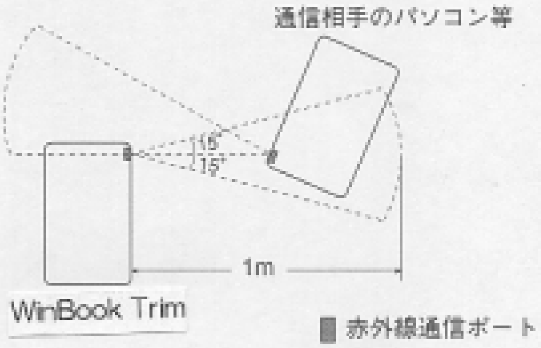
### ■キャップの交換

スティックポインターの先に付いているキャップは着脱式です。必要に応じて、付属の予備キャップを交換することができます。



# 2-5　赤外線通信機能を使う

テレビ・ビデオ等で使われるリモコンと同じ赤外線を使い、他のパソコンとケーブルを使わずにデータ通信ができます。IrDA（Infrared Data Association）1.1の規格に準拠し、赤外線による半二重方式のシリアル通信ができます。
通信距離は最大1mで、赤外線通信ポートから15度の範囲内に通信先の赤外線通信ポートがなければ通信できません。また、赤外線ポートの間には、物を置かないでください。




赤外線通信を行うには、セットアップユーティリティで設定します。（工場出荷時には設定されています。）
セットアップユーティリティの設定方法については応用編3-6節を参照してください。

**補足**

・通信距離、通信範囲については、動作環境により異なります。
・1対1の通信しかできません。
・インバータ方式の蛍光灯や太陽光に赤外線通信ポートを向けた状態で赤外線通信を行うと、正確に通信できない場合があります。
・テレビ、ビデオ等のリモコンを、赤外線通信ポートの受光範囲に向けないでください。
・通信中は、本体装置および通信相手の本体装置を動かさないでください。

基本編

# 3 日常のお手入れ

# 3-1 バックアップ

トラブルに備えてデータやプログラムのコピーを取っておくことをバックアップといいます。バックアップを行っておけば、何らかの原因でファイルが壊れたり、消えたりしても被害を少なくすることができます。
重要なファイルは、こまめにバックアップをとることをお奨めします。



**補足**

本製品にはWindows 95のインストール用CDが添付されておりますが本機特有のドライバや、ユーティリティはCDには含まれておりません。万一のトラブルに備え、再インストール用のシステムディスクを作成してください。フロッピーディスク（3.5インチ2HD 1.44MB）は市販のものをご用意ください。
詳しくは、『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。

# 3-2 清掃

本機は、以下の要領で清掃してください。

### ■本体装置、キーボード

- 清掃を始める前に本体装置底面のOFF/ONボタンを押し、ACアダプターを本体装置から外してください。
- 本体装置の表面の汚れがひどい場合は、軽く湿らせた布に中性洗剤を付けて汚れを拭き取ります。
- キーボード表面の汚れは、軽く湿らせた布にごく少量の中性洗剤を付けて拭き取ります。キーの間に水、洗剤が流れ込まないように注意してください。

### ■3.5インチFDD装置

市販のFDDヘッドクリーニング・シートを使ってヘッド（データを読み書きする部分）を定期的に清掃します。

**補足**

- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。変色、変形、故障などの原因になります。
- コネクターやフロッピーディスク装置の近くでクリーニング液やスプレーを使わないでください。
- 3.5インチFDD装置のヘッドが汚れていると、正常にフロッピーディスクを読み込んだり、書き込んだりできなくなります。

# 4 内蔵バッテリーを使う

# 4-1　内蔵バッテリーを上手に使う

本機は、内蔵バッテリー（リチウムイオン電池）で動作させることができます。
内蔵バッテリーの動作時間は通常約1.5時間、充電可能回数は通常300～500回です。

■内蔵バッテリー使用時の注意

●購入直後の内蔵バッテリーは、動作時間が短い場合があります。あらかじめ充電してからお使いください。
充電の方法は、基本編4-2節を参照してください。

●内蔵バッテリーの動作時間は、以下の要因によって異なります。
・起動中のアプリケーションの種類
・システムの構成要素
など

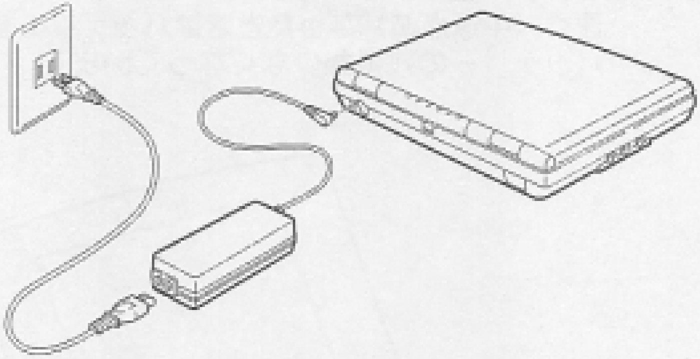
●ネットワークで使用するときは、ACアダプターを使用してください。内蔵バッテリーで使用すると、内蔵バッテリーの容量が少なくなり、サスペンドモードに移行するため、ネットワーク側でエラーが起こる可能性があります。

●温度が低すぎたり、高すぎるとバッテリーの使用時間や寿命が短くなります。なるべく10℃～35℃でご使用ください。

●内蔵バッテリーは取り外しができません。バッテリーの寿命等で交換する場合は、お買い求め販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にご相談ください。

# 4-2 内蔵バッテリーを充電する

ACアダプターを本体装置に接続します（基本編1-4節を参照してください）。



**⚠注意**

AC100Vの電源を使用してください。その他の電源を使用すると火災や故障の原因となります。

この後、本体装置の電源を入れれば、本機を使用しながら充電することもできます（約3時間）。

| | バッテリーランプ | 状態（数値は大まかな目安） |
|---|---|---|
| バッテリー充電時（ACアダプター使用） | オレンジ色で中速点滅 | バッテリーの充電レベル0～69% |
| | オレンジ色で低速点滅 | バッテリーの充電レベル70～99% |
| | オレンジ色で点灯 | 充電終了 |

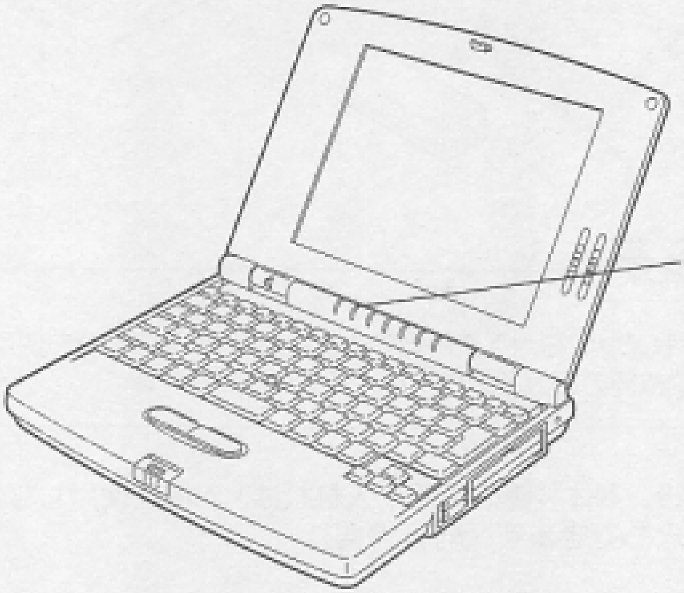
**補足**

- 電源を入れた状態で充電する場合、システムの稼動状況により充電時間が大幅に長くなることがあります。
- 充電完了後、ACアダプターを抜き差しすると、充電レベルが100%になっているにもかかわらず、バッテリーランプが点滅し始める場合があります。

# 4-3 内蔵バッテリーの残量が少なくなると

## ■内蔵バッテリーの残量が少なくなると

本体装置を内蔵バッテリーで使用しているときは、バッテリーランプに注意してください。バッテリーランプの緑色の点滅が速く（中速点滅）なったときはバッテリー警告状態です。内蔵バッテリーの残量が少なくなっています。



## ■バッテリー警告時の対処

バッテリー警告が発生した後、バッテリーランプの点滅が速くなったらACアダプターを本体装置に接続しないとセットアップユーティリティの"VLB Hibernation"の設定により、自動的にディスクサスペンドモード（消費電力を抑えるモード）に移行するか電源が切れます。
出荷時の設定では自動的にサスペンドモードに移行します。
"VLB Hibernation"は応用編3-4節を参照してください。
バッテリー警告時には、以下のフローチャートに従って対処してください。

ACアダプターが使用できますか？

- Yes → ACアダプターをすみやかに接続してください。接続後は通常通りに使用できます。
- No → 以下の作業をすみやかに行ってください。
  ①作業中のデータを保存します。
  ②Windowsを終了します。
  次回使用するときは、ACアダプターを接続してから電源を入れてください。

## ■バッテリー残量表示

バッテリーランプの点滅状態によって、残量を確認できます。

| バッテリーランプ | 残量レベル |
|---|---|
| 緑色で点灯 | バッテリーの残量31%～100% |
| 緑色で低速点滅 | バッテリーの残量11%～30% |
| 緑色で中速点滅 | バッテリーの残量0～10% |
| 消灯 | 電源が切れている |

# 5 サスペンドモードについて

# 5-1　ディスクサスペンドモード

サスペンドモードは、本機を使用しないときなどに消費電力を抑える省電力モードです。
作業中のデータが、ハードディスクのサスペンド用領域に保存され、本体装置の電源が切れます。

補足

ディスクサスペンドモードではメモリーの内容をハードディスクに保存するので、ハードディスクにメモリー容量（主メモリー＋VRAM）以上のサスペンド領域が必要です。出荷時には約50MBのサスペンド領域が確保されています。

**■モードの状態（省電力効果）**

本体装置の電源が切れます。

**■モードへの移行条件**

以下のいずれかが満たされると、ディスクサスペンドモードへ移行します。移行時間は約10秒です。

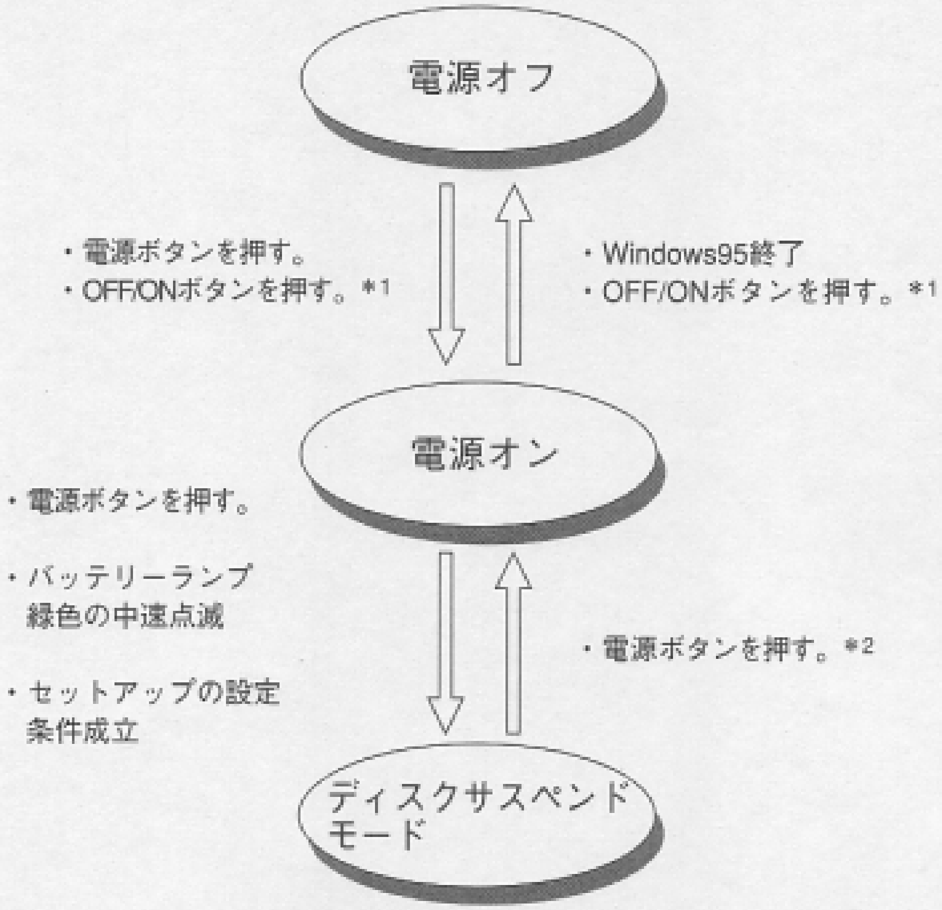
- ・電源ボタンを押した場合
- ・セットアップで設定した条件が満たされた場合（応用編3-4節参照）
- ・バッテリーの残量が少なくなった場合（バッテリーランプ緑色の中速点滅状態）

**■ノーマルモードへの復帰条件**

電源ボタンを押すと、ディスクサスペンドモードから通常の状態に復帰します（復帰時間は約10秒です）。
バッテリー警告により、ディスクサスペンドモードに移行した場合は、**ACアダプター装着後**に電源ボタンを押してください。

# 5-2　サスペンドモードの状態遷移

サスペンドモードの状態遷移を以下にまとめます。




＊1 OFF/ONボタンは、異常時以外はなるべく使わないでください。
＊2 復帰条件の詳細は、基本編5-1節を参照してください。

# 応　用　編

# 1 システム拡張のしかた

1-1 3.5インチFDD装置を使う

1-2 PCカードを取り付ける

1-3 プリンターを接続する

1-4 外部キーボード、テンキーパッド、マウスを接続する

1-5 RS-232C機器を接続する

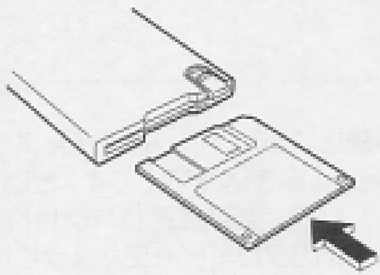
1-6 外部カラーディスプレイ装置を接続する

1-7 オーディオ機器を接続する

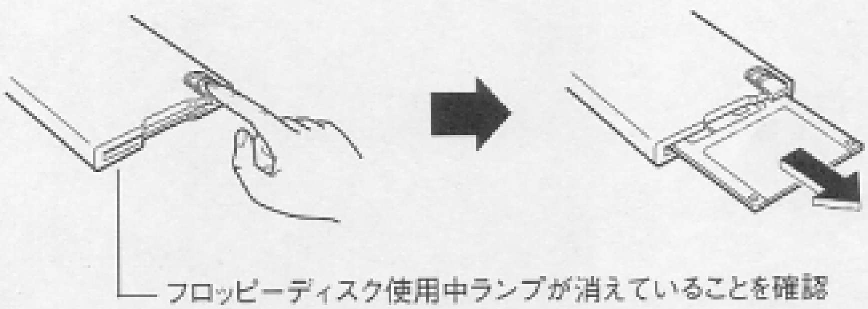
本機では、以下のフロッピーディスクが使えます。空きフロッピーディスクや、媒体がフロッピーディスクで提供されるアプリケーションは、これらのいずれかを購入してください。
①3.5インチ2HD　1.44MBフォーマット
②3.5インチ2DD　720KBフォーマット
③3.5インチ2HD　1.2MBフォーマット

**補足**
1.2MBフォーマットのフロッピーディスクを使用する場合、準備操作が必要です。詳しくは『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。

■**フロッピーディスクを入れる**
下図のような向きで、入れてください。

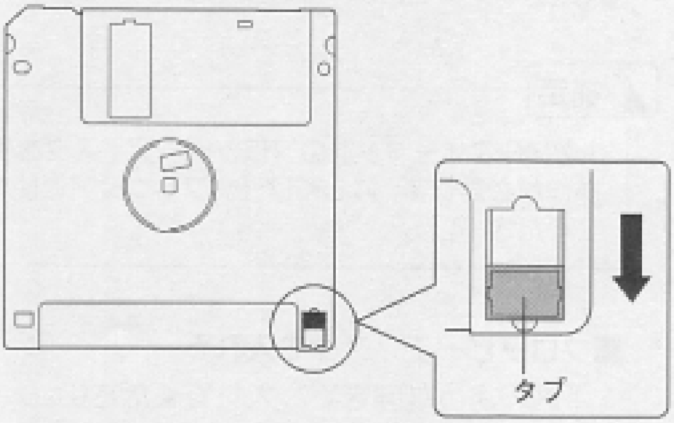


■**フロッピーディスクを取り出す**
必ず、フロッピーディスク使用中ランプが消えていることを確認してから、フロッピーディスク取り出しボタンを押します。



### ■フロッピーディスクの書き込みを禁止するには

下図のように、タブをスライドさせ書き込み禁止にします。フロッピーディスク内の大切なデータを、誤って削除したり、変更したりすることを防げます。



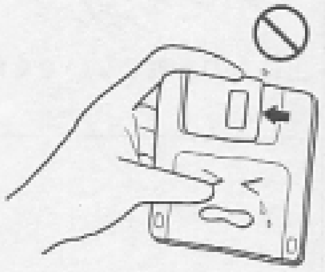



**補足**

- 書き込み禁止にしたフロッピーディスク内のデータ削除、変更しようとすると、「書き込み禁止です」という意味のメッセージが表示されます。削除、変更は行われません。
- 書き込み禁止のフロッピーディスクには、新しくデータを追加することもできません。
- タブを元の位置に戻せば、データの削除、変更、追加が可能になります。
- 内蔵スピーカーにフロッピーディスクを近付けないでください。近付けるとフロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

## ■フロッピーディスクの取り扱い

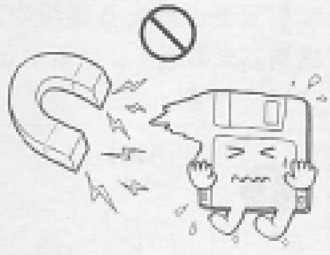
フロッピーディスクはとてもデリケートです。大切なデータを守るため、以下の点に注意してください。注意を無視して誤った取り扱いをすると、フロッピーディスク内のデータが壊れたり、フロッピーディスク装置が故障したりすることがあります。



シャッターを開けないでください。



溶剤類は絶対に付けないでください。



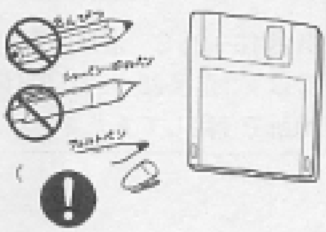
磁石やスピーカーを近付けないでください。



折り曲げないでください。



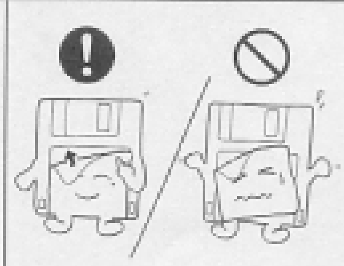
クリップで挟まないでください。



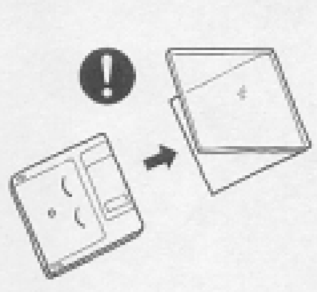
ラベルはフェルトペンで記入してください。



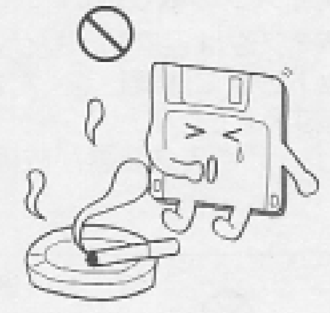
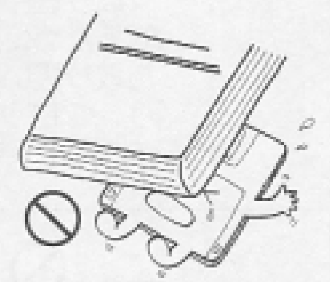
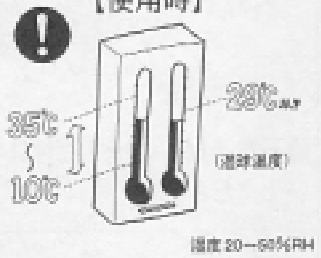
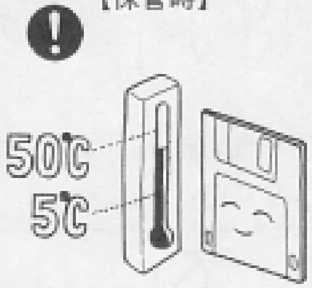
ラベルの文字を消しゴムで消さないでください。



ラベルは正しい位置に貼ってください。



使用後はケースの中へ入れてください。

<table>
<tr>
<td><br>直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くには置かないでください。</td>
<td><br>タバコの煙に近付けないでください。</td>
<td><br>上にものを載せないでください。</td>
</tr>
<tr>
<td>【使用時】<br><br><br>気温10〜35℃、湿球温度29℃以下、湿度20〜50%RHの場所で使用してください。</td>
<td>【保管時】<br><br><br>気温5〜50℃の場所で保管してください。</td>
<td></td>
</tr>
</table>

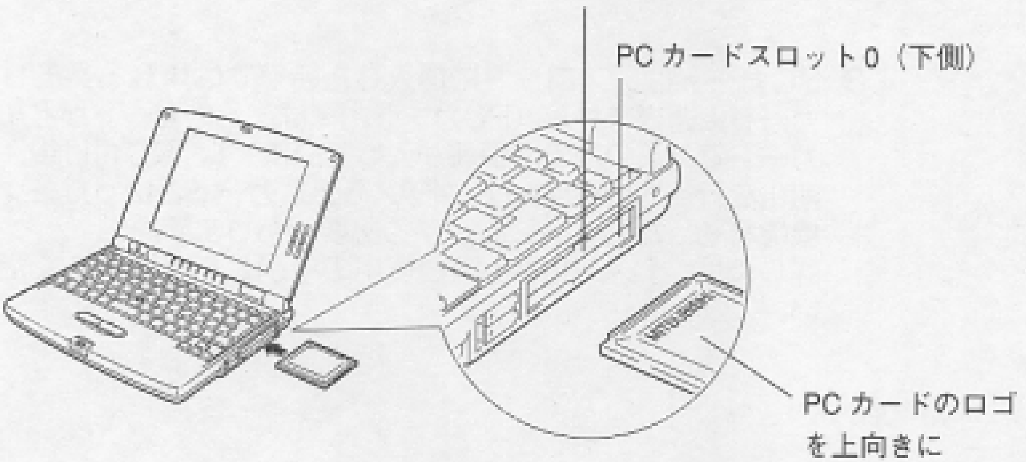
# 1-2 PCカードを取り付ける

PCカードスロット0とPCカードスロット1に、PCカードを1枚ずつ取り付けて使えます。

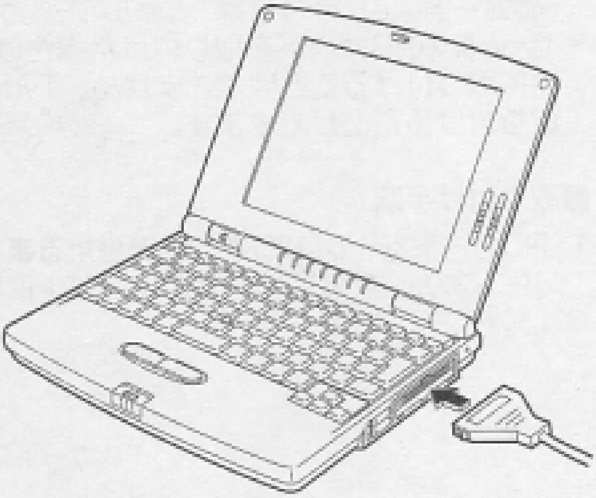
- PCカードスロット0にはTypeⅡまたはTypeⅢのPCカードが使用できます。
- PCカードスロット1にはTypeⅡのPCカードが使用できます。
- TypeⅢのPCカードを取り付けた場合は、他のPCカードを同時に取り付けることはできません。TypeⅡのPCカードは2枚取り付けることができます。

## ■取り付け手順

1 PCカードを、図の向きに**突き当たるまで**ゆっくり差し込みます。このとき、PCカードのロゴが上になるようにしてください。



2 ケーブルを接続する必要のある場合は、ケーブルを接続します。
詳しくはPCカードの説明書を参照してください。

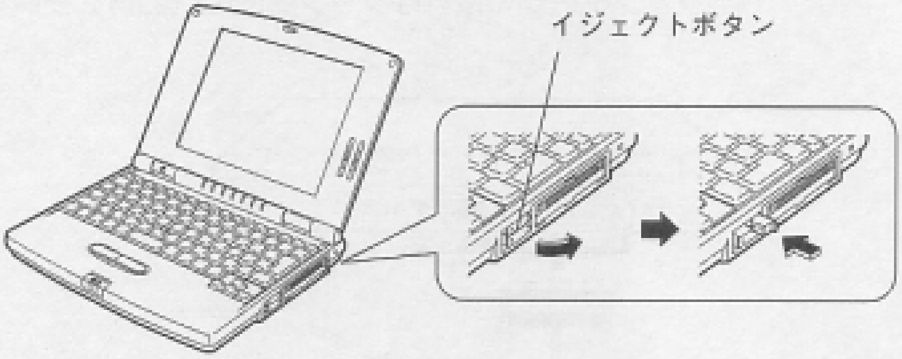


3 PCカードは、スロットに挿入した時点では単なるメモリーカードに過ぎません（PCカード内には、そのカードがどんなカードであるのかのID情報が入っています）。取り付け後、初期化を行ってLANカードやFAXモデムカードといった各々の機能をもったカードに設定する必要があります。
詳しくは、『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。

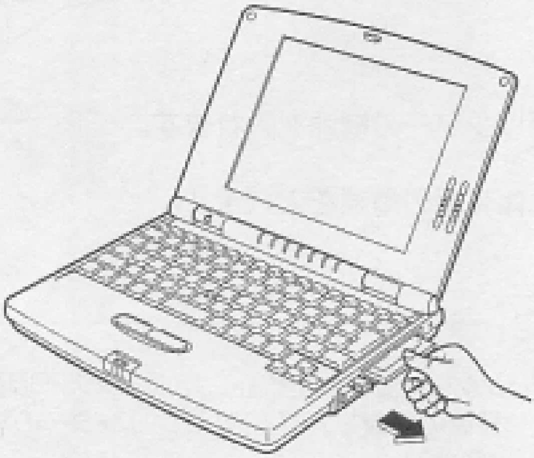
■取り外し手順

1 Windowsでカード終了操作を行います。詳しくは『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。

2 PCカードを取り外したいスロットのイジェクトボタンを起こしてから押します。




3 PCカードの端が出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。



補足

使用中、PCカードは高温になることがありますが故障ではありません。

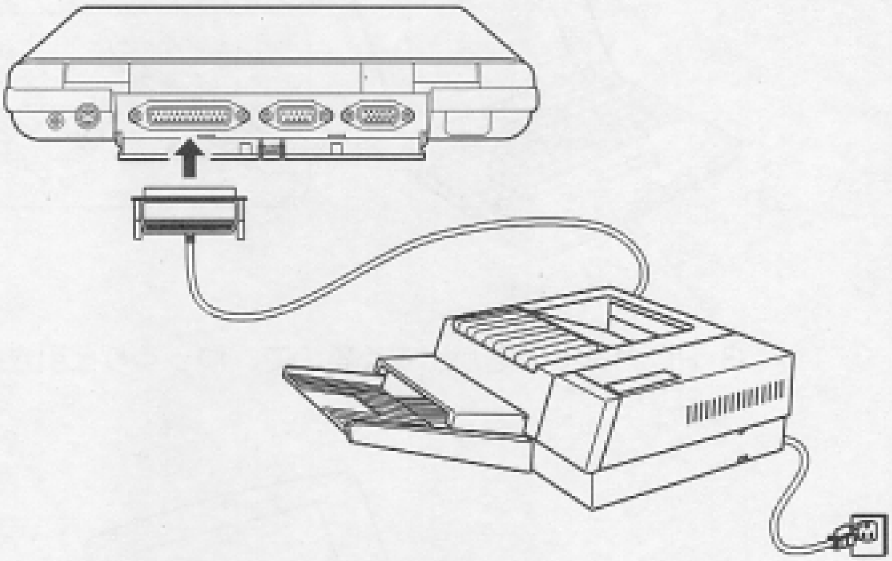
# 1-3 プリンターを接続する

パラレルポートにプリンターを接続することができます。

■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置背面のパラレルポートコネクターにプリンターケーブルのコネクターを差し込み、ネジを回して固定します。
プリンター側の接続はプリンターの説明書を参照してください。



3 プリンターの電源を入れます。

4 本体装置の電源を入れます。

補足

- プリンターを使用する場合には3.5インチFDD装置は接続できません。
- 本体装置の電源を入れる前に、プリンターの電源を入れるようにしてください。
- 取り外すときは、必ずプリンターの電源を切り、本体装置の電源を切ってから行ってください。
- プリンターを使用する場合、パラレルポートの設定は、セットアップユーティリティのAdvanced画面で設定できます。
設定方法は応用編 3-7 節を参照してください。

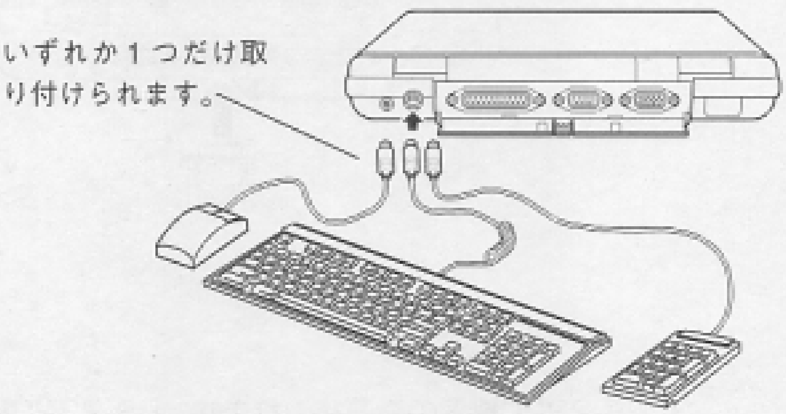
# 1-4　外部キーボード、テンキーパッド、マウスを接続する

PS/2インタフェースをもつキーボード、テンキーパッド、マウスのいずれか1つを取り付けることができます。

■取り付け手順

1　本体装置の電源を切ります。

2　本体装置背面の外部キーボード／テンキーパッド／マウスコネクターに、各機器のコネクターを差し込みます。




3　本体装置の電源を入れます。

**補足**

・取り外すときは、必ず本体装置の電源を切ってから行ってください。
・市販のキーボード・マウス分配コネクターを外部キーボード／テンキーパッド／マウスコネクターに接続して、マウスとテンキーパッドまたは外部キーボードとを同時に使用できます。
詳しくは、お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。

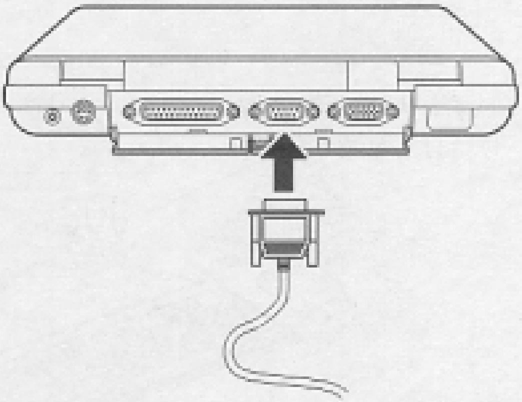
# 1-5 RS-232C機器を接続する

バーコードハンドスキャナなど、RS-232Cインタフェースを持つ機器が使用できます。

**■取り付け手順**

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置背面のシリアルポートに、接続したいRS-232C機器のコネクターを差し込み、ネジを回して固定します。



3 RS-232C機器の電源を入れます（RS-232C機器に電源がある場合）。

4 本体装置の電源を入れます。

**補足**

シリアルポートの設定は、セットアップユーティリティのAdvanced 画面で設定できます。
設定方法は応用編 3-7 節を参照してください。

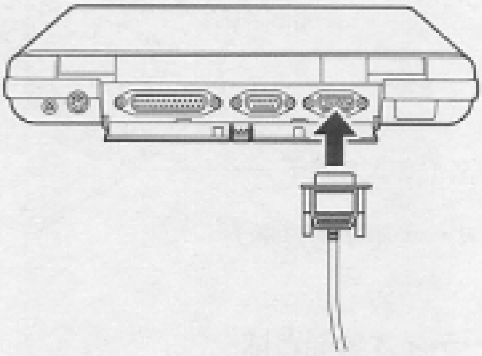
# 1-6 外部カラーディスプレイ装置を接続する

カラーディスプレイ装置を接続することができます。

■取り付け手順

1 本体装置の電源を切ります。

2 本体装置後面にある外部ディスプレイ装置用コネクターに、外部カラーディスプレイ装置のコネクターを差し込み、ネジを回して固定します。
外部カラーディスプレイ装置の説明書も参照してください。



3 外部カラーディスプレイ装置の電源を入れます。

4 本体装置の電源を入れます。

補足

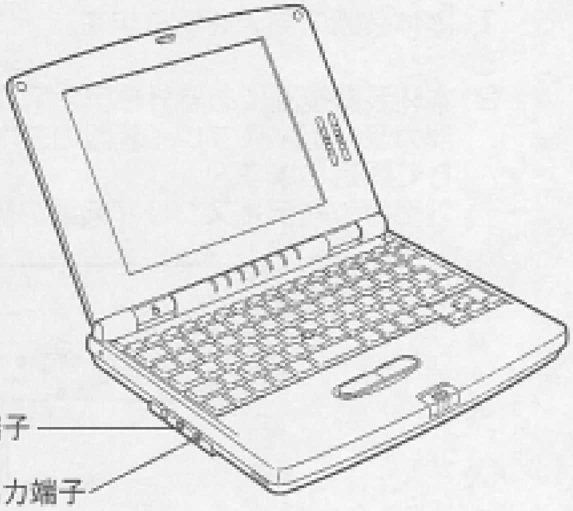
・常に、カラーディスプレイ装置の電源を入れてから本体装置の電源を入れるようにしてください。
・取り外すときは、必ず外部カラーディスプレイ装置の電源を切り、本体装置の電源を切ってから行ってください。

■ディスプレイドライバの設定

出荷時、WinBook Trimには、解像度1024×768ドット、800×600ドット、640×480ドットの表示ドライバが、組み込まれています（詳しくはソフトウェアご使用の手引を参照してください）。

# 1-7 オーディオ機器を接続する

本機には3.5mmステレオ・ミニジャックのマイク入力端子、オーディオ出力端子があります。




■オーディオ機能とは

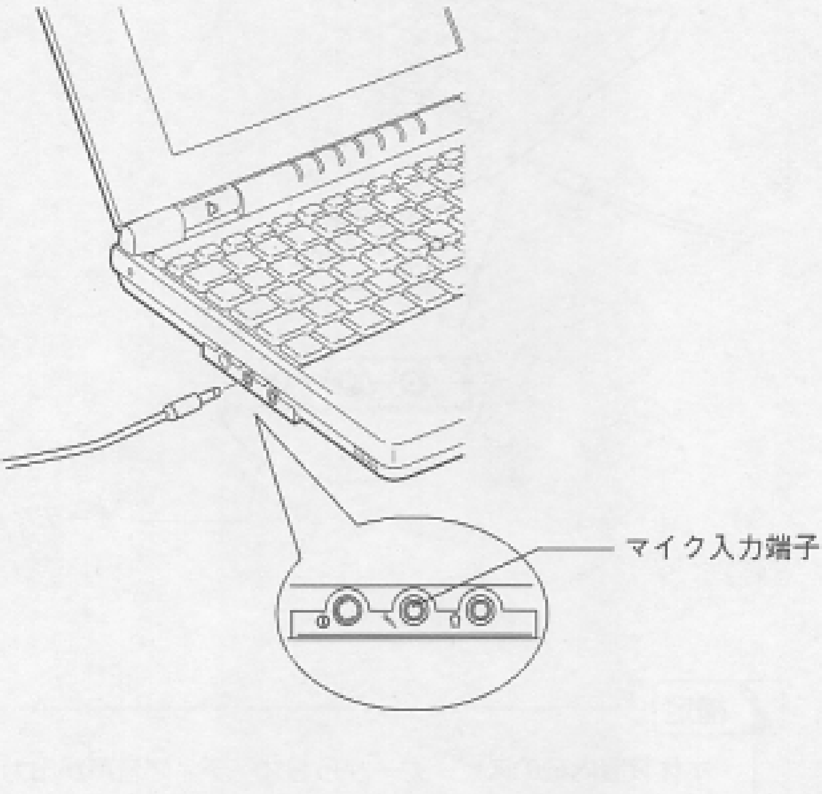
オーディオ機能を使うと音声波形を加工したり、Waveform(波形)と呼ばれるデータ形式でファイルに保存したりできます。
Waveformデータは、".WAV"の拡張子のファイルや画像データと一緒に圧縮して".AVI"ファイルに保存したり、Windowsアプリケーションで加工したりできます。

## ■オーディオ機能の接続

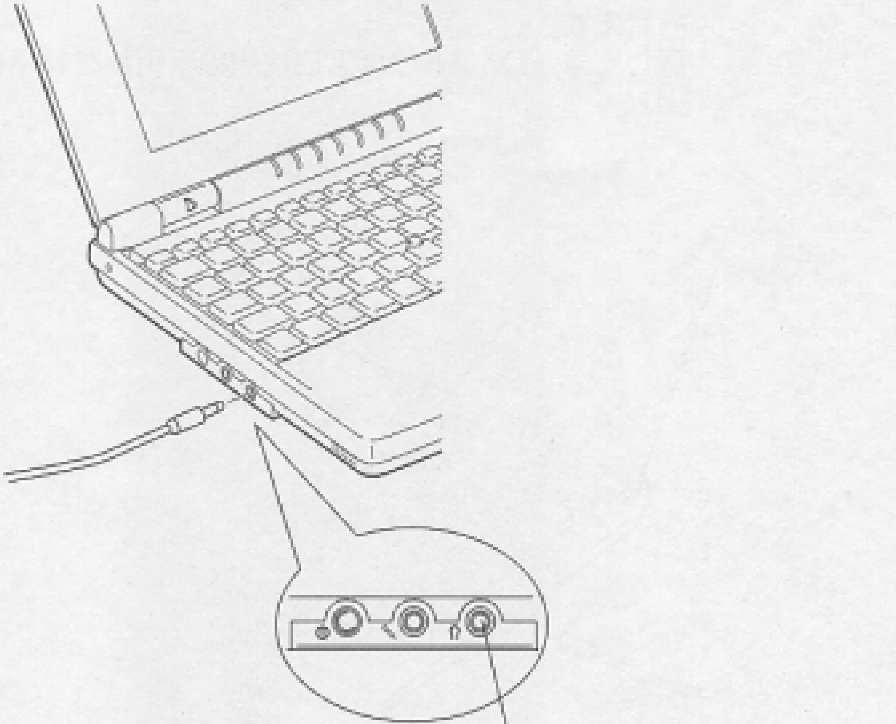
●マイク入力端子

マイク入力用として本体装置にマイクを接続して、音声を録音（ファイルに保存）したり、加工したりできます。マイク入力端子にはマイクロフォン（低感度／高感度）を接続できます。入力端子の感度（録音レベル）はWindows上で変えられます。

詳しくは、『ソフトウェアご使用の手引』を参照してください。



●オーディオ出力端子
オーディオ出力端子には、オーディオ機器（ヘッドフォン、アンプ内蔵スピーカー、カセットデッキ、ミニディスク（MD）プレイヤー、DATプレイヤーなど）を接続することができます。




**補足**

・本体装置内蔵のスピーカーからもオーディオ音声が出力されますが、質の高いオーディオ音声をお聞きになりたい場合にはオーディオ機器を接続してください。ただし、オーディオ機器によっては、雑音が聞こえることがあります。
・内蔵スピーカー出力のOFF/ON設定はセットアップユーティリティの中でできます。設定方法は応用編3-8節を参照してください。

応用編

# 2 メモリーを増設する

本機は、SO-DIMM（スモール・アウトライン・デュアル・インライン・メモリー・モジュール）仕様の増設メモリーキットを接続できるコネクターを備えています。このコネクターにオプションの増設メモリーキットを装着すると、メモリー容量を最大48MBに拡張できます。
標準のメモリー容量については、『ハードウェア仕様』を参照してください。

**⚠警告**

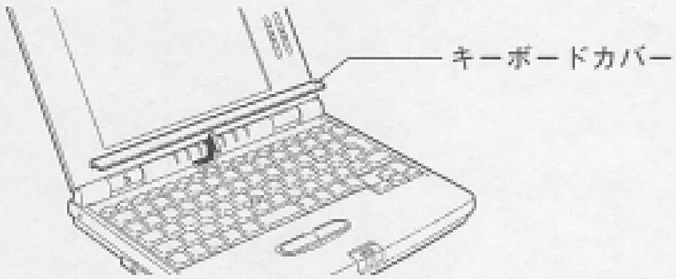
本体装置の電源を切った直後は本体内部が熱くなっていますので、増設メモリーの取り付け・取り外しは本体が十分に冷えた後に行ってください。

■取り付け手順

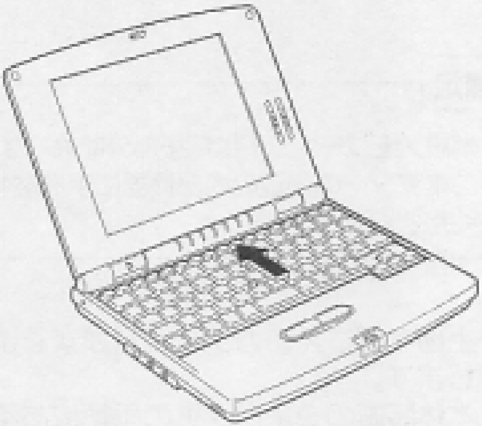
1 本体装置の電源が切れていること、ACアダプターが本体装置から外れていることを確認してください。

2 本機以外の金属性のものに手を触れて身体の静電気を取り除きます。

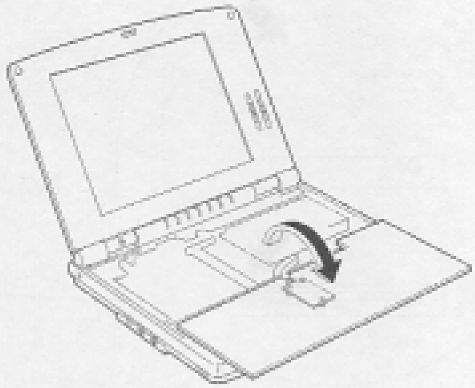
3 内蔵キーボード上部のキーボードカバーを右の方へずらして、カバーを持ち上げながら外します。



4 内蔵キーボード上部を少し持ち上げてLCDパネル側に少しずらします。



5 キーボードに付いているケーブルを引っ張らないように注意しながら手前に裏返すように開けます。

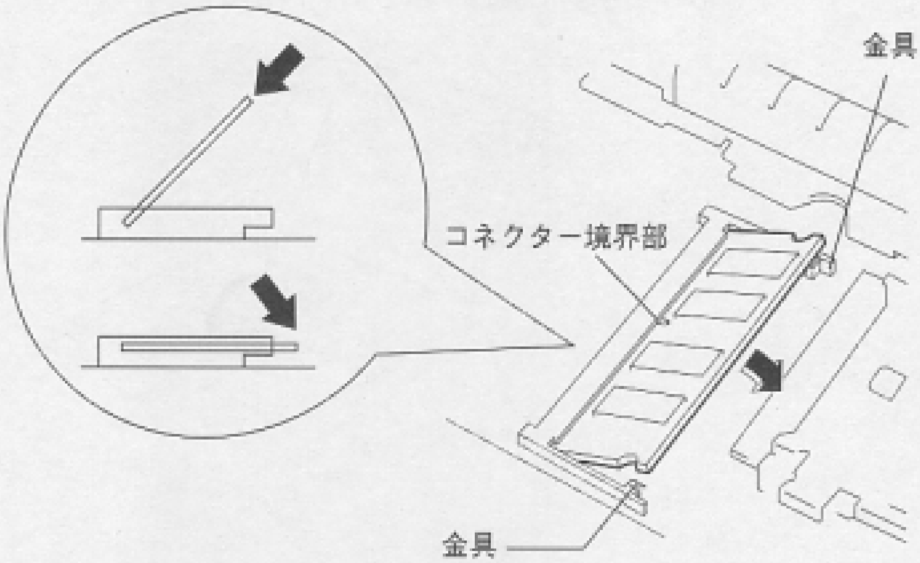


6 増設メモリーキットをコネクターに取り付けます。
メモリーの切り欠きが本体装置のコネクターの境界部に合うように斜めに突きあたるまで差し込みます。

**補足**

- 増設メモリーキットは端子部分に触れないように、両端を持ちます。
- コネクターの周辺の内部機器に手を触れないよう、慎重に作業してください。

7 上部を押さえ、カチッと音がするまで増設メモリーキットを倒します。
本体装置のコネクターの両端にある金具で固定されたことを確認してください。

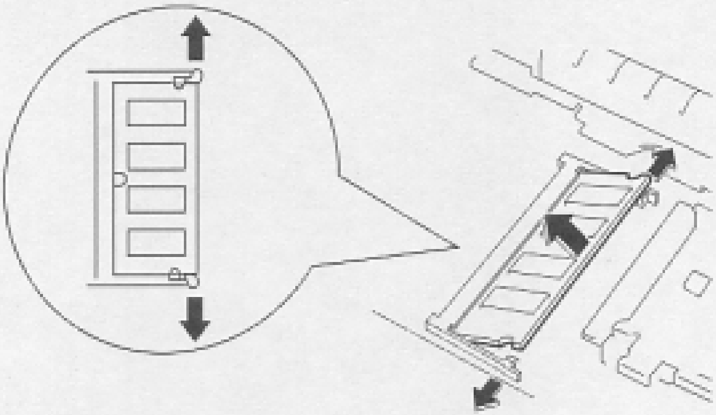



8 内蔵キーボードを1～5と逆の要領で元の位置に戻し、カバーで固定します。

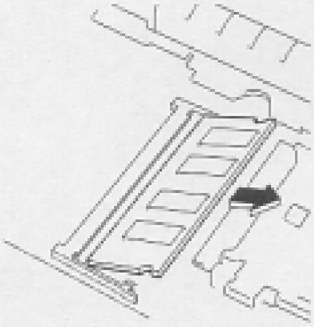
■取り外し手順

1 取り付け手順の1～5を行います。

2 本体装置のコネクターの両端にある金具を同時に外側へ広げ、増設メモリーキットを起こします。



3 コネクターから増設メモリーキットを抜き取ります。



補足

・増設メモリーの取り付けを行った後、本体装置を起動したときには、メモリー容量がチェックされ、メモリーサイズが自動的に更新されます。
・増設メモリーキットの取り付け／取り外しを行った後はセットアップユーティリティのMain画面で、メモリー容量が正しい値になっていることを確認してください。
セットアップユーティリティについては、応用編3-2節を参照してください。

4 内蔵キーボードを取り付け手順1～5と逆の要領で元の位置に戻し、カバーで固定します。

# 3 セットアップ

# 3-1 セットアップユーティリティとは

セットアップユーティリティは、システム設定を行うユーティリティで、 本体装置内の特別なメモリーに格納されています。
次のいずれかの処理をするときに使用します。

- ・日付、時刻を変更するとき
- ・パワーマネージメント機能の設定を変更するとき
- ・セキュリティの設定を変更するとき
- ・オプション機器をつないでシステム拡張したとき

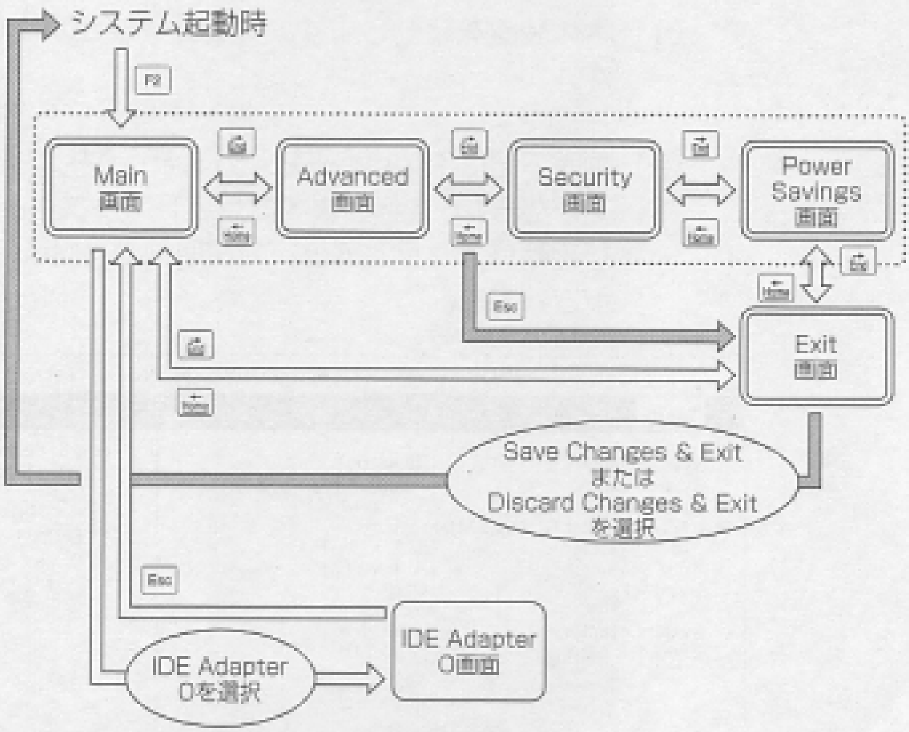
システム起動時に[F2]キーを押すとセットアップユーティリティが起動します。詳しくは応用編3-2節を参照してください。

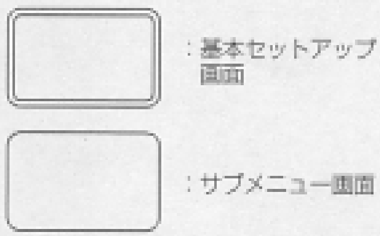
また、何らかの原因によりシステム設定の内容が不正のときは、本体装置の電源を入れたときに以下のメッセージが表示され、入力待ちになります。

```
Press <F1> to resume <F2> to Setup
```

この場合も、セットアップユーティリティを使用してシステム設定し直す必要があります。入力待ちの状態で[F2]キーを押すとセットアップユーティリティが起動します。

セットアップユーティリティの画面の流れは下図のとおりです。



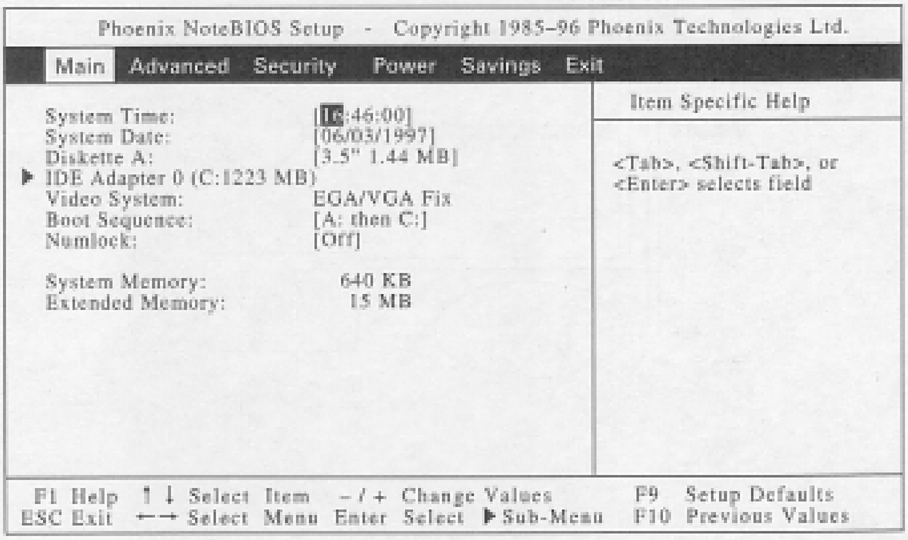
# 3-2　セットアップユーティリティの起動と終了

セットアップユーティリティは次の方法で、起動・終了します。

**■起動方法**

（1）本体装置を起動します。メッセージが次々に出てきます。

（2）画面下部に"Press <F2> to Setup"とメッセージが出てきたら F2 を押します。セットアップユーティリティが起動し、セットアップの初期画面（Main画面）が表示されます。



## ■終了方法

[Esc]を押して、以下の画面（Exit画面）を表示します。

```
        Phoenix NoteBIOS Setup  -  Copyright 1985-96 Phoenix Technologies Ltd.
    Main   Advanced   Security   Power   Savings   Exit

  Discard Changes & Exit                        Item Specific Help
  Save Changes & Exit
  Get Default Values                          Exit without saving
  Load Previous Values                        changed SETUP item
  Save Changes                                values.

 F1  Help   ↑↓ Select  Item   -/+   Change Values      F9   Setup Defaults
 ESC Exit   ←→ Select  Menu   Enter Execute Command    F10  Previous Values
```

（1）設定値の変更を保存して終了する場合

① [↑]または[↓]を押して、Save Changes & Exitを白色表示にします。

② [Enter]を押します。

以下の画面が表示されます。取り消しはできません。

```
              Notice
   Changes have been saved.
          [continue]
```

③いずれかのキーを押すと、設定した値が保存され、セットアップユーティリティが終了し本体装置が再起動します。

（2）設定値の変更を保存しないで終了する場合

① [PgUp]または[PgDn]を押して、Discard Changes & Exitを白色表示にします。

② [Enter]を押します。

以下の画面が表示されます。[Esc]で取り消すことができます（値の変更がなければ、表示せずに本体装置が起動します）。

```
                Warning !
  Configuration has not been saved!
          Save before exiting?
          [Yes]          [No]
```

③ [　　　　](スペース)を押して、Noを反転させます。

④ [Enter]を押すと、設定した値は保存されずにセットアップユーティリティが終了し、本体装置が再起動します。

（上記③で、Yesを反転させて[Enter]を押すと、設定した値が保存されて、本体装置が再起動します。）

**■設定値の変更・保存**

セットアップユーティリティを終了せずに、以下の設定値の変更・保存ができます。

（1）画面の設定値を既定値に変更したい場合

① [F9]を押すか、Exit画面のGet Default Valuesを白色表示にして[Enter]を押します（Exit画面では[F9]は使用できません）。

②以下の画面が表示されます。取り消しはできません。

| Notice |
| --- |
| Default values have been loaded.<br>[continue] |

③いずれかのキーを押します。
既定値は出荷時設定値とは異なります。

(2) 画面の設定値を前回保存時の値に変更したい場合

①[F10]を押すか、Exit画面のLoad Previous Valuesを白色表示にして[Enter]を押します（Exit画面では[F10]は使用できません）。

②以下の画面が表示されます。取り消しはできません。

| Notice |
| --- |
| Previous values have been loaded.<br>[continue] |

③いずれかのキーを押します。

(3) 画面の設定値の変更を保存したい場合

①Exit画面のSave Changesを白色表示にして[Enter]を押します。

②以下の画面が表示されます。取り消しはできません。

| Notice |
| --- |
| Changes have been saved.<br>[continue] |

③いずれかのキーを押します。

■各画面での操作方法

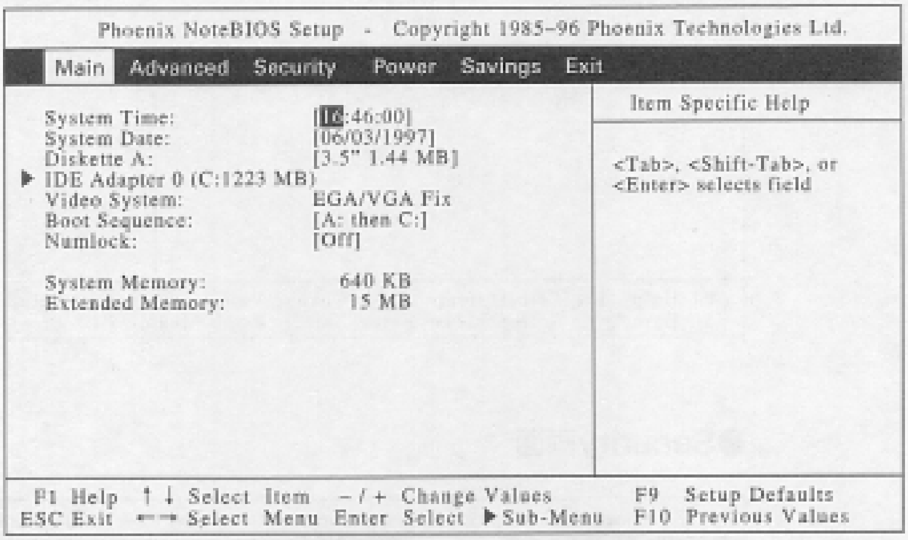
設定項目を選び、値を変えます。

- 設定項目を選ぶ …………… で1つ前の設定項目に、で1つ後の設定項目に移ります。選んだ設定項目は反転表示または白色表示になります。設定項目が白色になるものには、を押すとサブメニューが表示されます。
- 設定項目の値を変える …… で値を1つ前の選択候補に、（スペース）で値を1つ後の選択候補にします。
- 画面を切り換える ………… やで次の画面に切り換わります。

## ■基本セットアップ画面

以下に基本セットアップ画面を示します。
本画面は、出荷時の設定値になっています。

### ●Main画面




IDE Adapter 0 の値は、ハードディスクの容量により異なります。

## ●Advanced画面

```
  Phoenix NoteBIOS Setup  -  Copyright 1985-96 Phoenix Technologies Ltd.
   Main   Advanced   Security   Power   Savings   Exit

   Serial 1:               [3F8, IRQ4]      | Item Specific Help
   IrDA:                   [2F8, IRQ3]      |
   Parallel Port:          [378, IRQ7]      | Set Com port address.
   Operation Mode:         [SPP]            |
   Speaker:                [ON]             |
   Plug & Play O/S         [Yes]            |

  F1  Help  ↑↓ Select Item   -/+   Change Values       F9   Setup Defaults
  ESC Exit  ←→ Select Menu   Enter Select ▶Sub-Menu    F10  Previous Values
```

## ●Security画面

```
  Phoenix NoteBIOS Setup  -  Copyright 1985-96 Phoenix Technologies Ltd.
   Main   Advanced   Security   Power   Savings   Exit

   Supervisor Password is      Disabled       | Item Specific Help
   User Password is            Disabled       |
   Set Supervisor Password     [Press Enter]  |
   Set User Password           Press Enter    |

   Password on boot:           [Disabled]     |

  F1  Help  ↑↓ Select Item   -/+   Change Values       F9   Setup Defaults
  ESC Exit  ←→ Select Menu   Enter Select ▶Sub-Menu    F10  Previous Values
```

## ●Power Savings画面

Phoenix NoteBIOS Setup - Copyright 1985–96 Phoenix Technologies Ltd.

Main Advanced Security **Power Savings** Exit

| | | Item Specific Help |
|---|---|---|
| Power Saving: | [Maximum Power Saving] | Select Power Management Mode. Choosing modes changes system power management settings. Maximum Power Savings conserves the greatest amount of system power while Maximum Performance conserves power but allows greatest system performance. To alter these settings, choose Customize. To turn off power management, choose Off. |
| CPU Running Speed: | 37.5 percent | |
| CPU Idling Speed: | 25 percent | |
| Fast Burst Timer: | 1 ms | |
| Slow Burst Timer: | 1 s | |
| Standby Timeout: | 4 Min | |
| Suspend Type: | Hibernation | |
| Auto Suspend Timeout: | 12 Min | |
| Quick To Hibernation: | Disabled | |
| Video Off: | 2 Min | |
| Hard Disk Off: | 1 Min | |
| VLB Hibernation: | Enabled | |
| Resume On Modem Ring: | [Off] | |

F1 Help ↑↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults
ESC Exit ←→ Select Menu Enter Select ▶Sub-Menu F10 Previous Values

## ●Exit画面

Phoenix NoteBIOS Setup - Copyright 1985–96 Phoenix Technologies Ltd.

Main Advanced Security Power Savings **Exit**

| | Item Specific Help |
|---|---|
| Discard Changes & Exit<br>Save Changes & Exit<br>Get Default Values<br>Load Previous Values<br>Save Changes | Exit without saving changed SETUP item values. |

F1 Help ↑↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults
ESC Exit ←→ Select Menu Enter Execute Command F10 Previous Values

## ■その他の画面

以下の画面は、Main画面の中で項目を選択し Enter を入力すると現れるサブメニュー画面です。

## ■Main画面のサブメニュー画面

・IDE Adapter 0

```
Phoenix NoteBIOS Setup  -  Copyright 1985-96 Phoenix Technologies Ltd.
 Main
IDE Adapter 0  (C:810 MB)                          Item Specific Help

Autotype Fixed Disk          [Press Enter]          Attempts to
                                                    Automatically detect
Type:                        [Auto]  1223 MB        the drive type for
Cylinders:                     2371                 drivers that comply with
Heads:                           16                 ANSI specifications.
Sectors/Track:                   63
Write Precomp:                 None

Multi-Sector Transfers:      16 Sectors
LBA Mode Control:            Enabled
32 Bit I/O:                  [Disabled]
Ultra DMA Transfer Mode:     Disabled
Transfer Mode:               Fast PIO 4

 F1  Help  ↑↓  Select Item    -/+   Change Values        F9   Setup Defaults
ESC  Exit  ←→  Select Menu   Enter  Execute Command      F10  Previous Values
```

# 3-3 日付と時刻の設定

日付と時刻はMain画面で変更できます。変更すると、それにともない Windowsの時計も日付と時刻が変わります。
☆セットアップユーティリティの起動と終了は応用編3-2節を参照してください。

（1）System Timeには、現在の時刻が'時：分：秒'の形式で表示されます（時は24時間表示です）。
'時'、'分'、'秒'が合っていない場合には、[illegible]、[illegible]を押してSystem Timeの項目を選び、[illegible]を押して'時'、'分'、'秒'を切り換えます。
・（スペース）を押すと値が＋1します。
・[illegible]を押すと値が－1します。

（2）System Dateには、現在の日付が'月/日/年'の形式で表示されます。
'月'、'日'、'年'が合っていない場合には、[illegible]、[illegible]を押してSystem Dateの項目を選び、[illegible]を押して'月'、'日'、'年'を切り換えます。
・（スペース）を押すと値が＋1します。
・[illegible]を押すと値が－1します。

# 3-4　パワーマネージメント機能の設定

本体装置の中で特に電力を消費する液晶ディスプレイ、ハードディスク、CPUを、パワーマネージメント機能できめ細かく省電力することで、バッテリーでの動作時間をのばすことができます。

**お願い**

本機でネットワークを使用する場合、サスペンドモードから復帰した後ではネットワークは正常に動作しません。ネットワークを使用する場合、サスペンドモードに移行しないようにしてください。

（1）パワーマネージメントはPower Savings画面で設定します。
　☆ セットアップユーティリティの起動と終了は応用編3-2節を参照してください。

（2）パワーマネージメント機能を働かせるために、Power Savingの値を変更します。

| 項目名 | 値の選択候補 | 意　味 |
|---|---|---|
| Power Savings | Off | パワーマネージメント機能を使用しない |
| | Customize | 各項目を自由に設定できる |
| | Normal Power Saving | 標準のパワーマネージメント設定 |
| | Maximum Power Saving | 最大のパワーマネージメント設定 |

＿＿＿＿は出荷時の設定です。

Customizeを除く各設定の値は次のとおりです。

●Off

| | |
|---|---|
| CPU Running Speed | 50 percent |
| CPU Idling Speed | 0 percent |
| Fast Burst Timer | 2ms |
| Slow Burst Timer | 1s |
| Standby Timeout | Disabled |
| Suspend Type | Hibernation |
| Auto Suspend Timeout | Disabled |
| Quick to Hibernation | Disabled |
| Video Off | Disabled |
| Hard Disk Off | Disabled |
| VLB Hibernation | Disabled |

●Normal Power Saving

| | |
|---|---|
| CPU Running Speed | 50 percent |
| CPU Idling Speed | 0 percent |
| Fast Burst Timer | 2ms |
| Slow Burst Timer | 1s |
| Standby Timeout | 8min |
| Suspend Type | Hibernation |
| Auto Suspend Timeout | 20min |
| Quick to Hibernation | Disabled |
| Video Off | 4min |
| Hard Disk Off | 3min |
| VLB Hibernation | Enabled |

●Maximum Power Saving

| | |
|---|---|
| CPU Running Speed | 37.5 percent |
| CPU Idling Speed | 0 percent |
| Fast Burst Timer | 1ms |
| Slow Burst Timer | 1s |
| Standby Timeout | 4min |
| Suspend Type | Hibernation |
| Auto Suspend Timeout | 12min |
| Quick to Hibernation | Disabled |
| Video Off | 2min |
| Hard Disk Off | 1min |
| VLB Hibernation | Enabled |

パワーマネージメントの設定に使う項目と、値の選択候補（＿＿は出荷時の設定）、意味は以下のとおりです。

| 項目名 | 値の選択候補 | 意味 |
|---|---|---|
| CPU Running Speed | 100 percent | CPU Busy状態でのCPUスピードの設定 |
| | 75 percent | |
| | 50 percent | |
| | 37.5 percent | |
| | 25 percent | |
| CPU Idling Speed | 0 percent | CPUアイドル状態でのCPUスピード設定 |
| Fast Burst Timer | 8ms | キーボード等動作時のCPUフルスピード復帰時間 |
| | 6ms | |
| | 4ms | |
| | 3ms | |
| | 2ms | |
| | 1ms | |
| Slow Burst Timer | 16s | ハードディスク動作時のCPUフルスピードへの復帰時間設定 |
| | 8s | |
| | 4s | |
| | 2s | |
| | 1s | |
| Standby Timeout | Disabled | スタンバイモード*へ自動的に移行するまでの時間設定 |
| | 1min | |
| | 2min | |
| | 4min | |
| | 6min | |
| | 8min | |
| | 12min | |
| | 16min | |
| Suspend Type | Hibernation | ディスクサスペンドに移行する設定 |
| Auto Suspend Timeout | Disabled | サスペンドへ自動的に移行するまでの時間設定 |
| | 4min | |
| | 8min | |
| | 12min | |
| | 20min | |
| | 30min | |

＊スタンバイモードはPCカード以外の機能を省電力モードにする設定です。

| 項目名 | 値の選択候補 | 意味 |
|---|---|---|
| Quick To Hibernation | Disabled | 使用できません |
| | 15min | |
| | 30min | |
| | 45min | |
| | 60min | |
| Video Off | Disabled | 画面表示を自動的に切るまでの時間設定 |
| | 5sec | |
| | 10sec | |
| | 15sec | |
| | 20sec | |
| | 30sec | |
| | 1min | |
| | 2min | |
| | 4min | |
| | 8min | |
| Hard Disk Off | Disabled | ハードディスクを自動的にOffするまでの時間設定 |
| | 1min | |
| | 2min | |
| | 3min | |
| | 5min | |
| | 10min | |
| VLB Hibernation | Disabled | バッテリー残量が少なくなると自動的にディスクサスペンドに移行する |
| | Enabled | |
| | | |
| Resume On Modem Ring | Off | モデムリングによるサスペンドモードからの復帰機能設定 |
| | On | |

# 3-5 セキュリティ機能の設定

セキュリティとして、パスワードが設定できます。パスワードを設定すると、パスワードを入力しなければ本体装置やセットアップユーティリティを起動できなくなるため、パスワードを知らない方は使用できなくなります。
セキュリティはSecurity画面で設定します。

☆セットアップユーティリティの起動と終了は応用編3-2節を参照してください。

パスワードには、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードがあります。

●スーパーバイザパスワード……セットアップ項目すべての設定ができます。

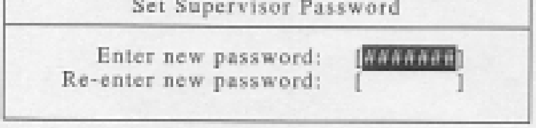
●ユーザパスワード………………以下の項目が設定できなくなります。
・スーパーバイザパスワード

ユーザパスワードを設定するには、まず、スーパーバイザパスワードの設定が必要です。

## ■パスワードの設定方法

(1) [illegible]または[illegible]を押してSet Supervisor Password、またはSet User Passwordの項目を反転表示させ、[Enter]を押します。

(2) 以下のメッセージが表示されますので、パスワードを入力します（英数文字7文字以内）。入力した文字は表示されないので正確に入力してください。




(3) [Enter]を押し、パスワードを確認するためもう一度パスワードを入力し[Enter]を押します。

応用編 3 セットアップ

(4) いずれかのキーを入力すると、パスワードが正しく設定された場合はSupervisor Password isまたはUser Password isの項目がEnabledになります。

(5) 本体装置の電源を入れたときにパスワードの入力を必要とするかどうかを指定します。パスワードの入力を必要とする場合は、Password On BootをEnabledに設定します。

## ■パスワードの入力方法

- ●パスワードが必要な操作を行うと、"Enter password" と表示されます。ここで不正なパスワードを入力すると"Invalid Password" と表示されます。入力は3回まで可能です。
  3回目の入力でも不正なパスワードを入力すると"SYSTEM DISABLED"と表示され、システムは停止します。この場合はOFF/ONボタンを押して本体装置の電源をいったん切り、再度電源を入れると再試行できます。

- ●パスワードを忘れてしまった場合は、システム構成をリセット(すべての設定を消去し、初期値に再設定)する必要があります。お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口にお問い合わせください。

## ■パスワードの消去/変更

パスワードの消去 / 変更は、パスワードの設定と同様にセットアップユーティリティで行います。

- ●パスワードの消去は、パスワードの設定においてパスワードを入力するところで何も入力せずに  を押します。
- ●パスワードの変更は、パスワードの設定と同じ方法で行います。

# 3-6　赤外線通信機能についての設定

赤外線通信を行うときには、セットアップユーティリティの設定が必要です。
赤外線通信はAdvanced画面で設定します。
☆操作方法は応用編3-2節を参照してください。

| 値の選択候補 | 意　味 |
|---|---|
| 3F8h, IRQ4 | IrDAポート(COM1)を使用する |
| 2F8h, IRQ3 | IrDAポート(COM2)を使用する |
| 3E8h, IRQ4 | IrDAポート(COM3)を使用する |
| 2E8h, IRQ3 | IrDAポート(COM4)を使用する |
| Disabled | IrDAポートを使用しない |

＿＿ は出荷時の設定です。

# 3-7 オプション機器についての設定

オプション機器をつないでシステム拡張したときは、セットアップユーティリティでの変更が必要です（＿＿は出荷時の設定）。

**■シリアルポート（RS-232C機器）**

シリアルポートに、モデムやその他のシリアルデバイスが接続できます。シリアルポートのポートアドレスの設定は、Advanced画面の中のSerial1で行います。

次のアドレスと割込みが設定できます（＿＿はSerial1の出荷時設定）。

- 3F8h, IRQ4
- 2F8h, IRQ3
- 3E8h, IRQ4
- 2E8h, IRQ3
- Disabled

（1）Serial1の値を設定します。
[illegible]または[illegible]を押してSerial1の値を反転させ、値を修正します。

☆操作方法は応用編3-2節を参照してください。

■パラレルポート（プリンター等）

パラレルポートのアドレス及びモードの設定は、Advanced画面のParallel Portで行います。使用しないときは、消費電力を抑えるために無効に設定してください。

次のアドレスと割込みがParallel Portで設定できます（＿＿＿はParallel Portの出荷時設定）。

・378h, IRQ7
・278h, IRQ5
・Disabled

次のモードがOperation Modeで設定できます。

・SPP ………………… 3.5インチFDD装置やプリンターなどデータのやりとりを行う機器に対して設定する。
・ECP ………………… ECPモードを使用する機器に対して設定する。
・EPP ………………… EPPモードを使用する機器に対して設定する。

（1）Parallel PortもしくはOperation Modeの値を上記の値に設定します。
[+]または[-]を押してParallel PortもしくはOperation Modeの値を反転させ、値を修正します。

☆操作方法は応用編3-2節を参照してください。

# 3-8　その他の設定

以下に、セットアップユーティリティで設定できるその他の項目について、値の選択候補（＿＿は出荷時設定）と意味を示します。

●Main画面

| 設定内容 | 項目名 | 値の選択候補 | 意味 |
|---|---|---|---|
| フロッピーディスク装置 | Diskette A | 3.5" 1.44MB | 3.5インチFDD装置を使用する |
| | | Not Installed | FDD装置を使用しない |
| システム起動ドライブ | Boot Sequence | A: then C: | ドライブAからシステムを起動する。ドライブAにオペレーティングシステムがない場合はドライブCからシステムを起動する。 |
| | | C: then A: | ドライブCからシステムを起動する。ドライブCにオペレーティングシステムがない場合はドライブAからシステムを起動する。 |
| | | C: only | ドライブC（ハードディスク）からシステムを起動する。ドライブCにオペレーティングシステムがない場合、エラーメッセージが表示される。 |
| 起動時のNum Lockの設定 | Num Lock | Off | 起動時にキーボードがNum Lock状態にならない。 |
| | | On | 起動時にキーボードがNum Lock状態になる。 |

●IDE Adapter 0画面（サブメニュー画面）
☆本画面の工場出荷時設定値は表中の値と異なる場合があります。

| 設定内容 | 項目名 | 値の選択候補 | 意味 |
|---|---|---|---|
| ハードディスクの自動設定 | Autotype Fixed Disk | Press Enter | この項目でEnterを押すと、以下の数値を自動的に設定する（ハードディスクのタイプがAutoの場合）。<br>・Type<br>・Cylinders<br>・Heads<br>・Sectors/Track<br>・Write Precomp |
| ハードディスクのタイプ | Type | User<br>Auto<br>None<br>タイプ番号 | ハードディスクの種類及び設定方法を決める。<br>通常はAutoに設定しておいてください。 |
| セクタ数 | Multi-Sector Transfers | Disabled<br>2/4/8/16 | 1ブロックあたりのセクタ数を指定する（Autotype Hard Diskで自動的に設定される）。 |
| LBAモード | LBA Mode Control | Disabled<br>Enabled | 528MB以上のハードディスクを使用する場合に設定する（Autotype Hard Diskで自動的に設定される）。 |
| 32ビットデータ転送 | 32 Bit I/O | Disabled | CPUと32ビットのデータ転送を行わない。 |
| | | Enabled | CPUと32ビットのデータ転送を行う。 |
| DMA転送モード | Ultra DMA Transfer Mode | Disabled<br>Mode 0/1/2 | DMA転送モードを設定する（Autotype Hard Diskで自動的に設定される）。 |

（つづく）

（つづき）

| 設定内容 | 項目名 | 値の選択候補 | 意味 |
|---|---|---|---|
| 転送モード | Transfer Mode | Standard<br>Fast PIO 1<br>Fast PIO 2<br>Fast PIO 3<br>Fast PIO 4<br>Fast DMA A<br>Fast DMA B<br>Fast DMA F<br>PCI Bus Master DMA | ハードディスクにアクセス中、ハードディスクからCPUへの割込みが少なくなる（Autotype Hard Diskで自動的に設定される）。 |

●Advanced画面

| 設定内容 | 項目名 | 値の選択候補 | 意味 |
|---|---|---|---|
| 内蔵スピーカーの設定 | Speaker | OFF | ビープ音を鳴らさない。 |
| | | ON | 内蔵スピーカーを鳴らす。 |
| プラグアンドプレイ | Plug & Play O/S | No<br>Yes | プラグアンドプレイ機能の設定。通常はNoにしてください。 |

応用編

# 4 故障かな？と思ったら

# 4-1　故障かな？と思ったら

本体装置を使用しているとき、問題が発生したときの対処方法について説明します。問題が発生したとき、お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口に連絡する前にこの章をよく読んでください。

**⚠警告**

煙が発生する、変な音がするなどの異常が発生した場合は、まず電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売会社、または添付の案内に記載されている問い合わせ窓口に修理依頼をしてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

### ■本体装置の問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 本体装置の電源が入らない | 内蔵バッテリーで動作させていますか？その場合、内蔵バッテリーは充電されていますか？ | 使いきった状態または放電しきった状態の内蔵バッテリーでは電源は入りません。本体装置にACアダプターを接続してください。 |
| | ACアダプターのプラグは正しく接続されていますか？ | ACアダプターのプラグを正しく接続してください。 |
| パワーマネージメント機能がまったく働かない | セットアップユーティリティのパワーマネージメント機能の設定が有効になっていますか？ | 応用編3-4節を参照し、パワーマネージメント機能を設定してください。 |
| | セットアップユーティリティの使用中ですか？ | セットアップユーティリティ使用中、システムスタンバイモードまたはサスペンドモードは一時的に無効になります。 |
| 電源ボタンを押してもサスペンドモードに移行しない | 何か動作中の装置がありませんか？ | すべての装置の動作が終了するまで待ってください。 |

## ■3.5インチFDD装置の問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 3.5インチFDD装置が動作しない | 3.5インチFDD装置に、正しくフロッピーディスクが入っていますか？ | フロッピーディスクをいったん取り出し、再度正しく挿入してください。 |
| | フロッピーディスクはフォーマットされていますか？ | 正しくフォーマットしてください。 |
| | セットアップユーティリティで3.5インチFDD装置の設定をしていますか？ | セットアップユーティリティでDiskette Aの項目を[3.5" 1.44MB]に設定してください。 |
| | FDDケーブルは正しく接続されていますか？ | 応用編1-1節を参照し、正しくFDDケーブルが接続されていることを確認してください。 |

## ■ハードディスクの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 本体装置がハードディスクから起動しない | セットアップユーティリティのハードディスクの設定は正しいですか？ | 応用編3-8節を参照し、Main画面のIDE Adapter 0を正しく設定してください。 |
| | オペレーティングシステムのシステムファイルが壊れていませんか？または間違っていませんか？ | 3.5インチFDD装置に、オペレーティングシステムの入っているフロッピーディスクを挿入し、起動してみてください。 |

## ■内蔵バッテリーの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 内蔵バッテリーが充電できない、または内蔵バッテリーでの動作時間が極端に短い | 充電のしかたは正しいですか？ | 基本編4-2節を参照し、正しく充電してください。 |

## ■液晶ディスプレイの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 液晶ディスプレイに何も表示されない | キーを押したり、電源ボタンを押したりして本体装置がパワーセーブモードに移行していないか確認してください。 | パワーセーブモードから復帰させてください。 |
| | コントラストボリュームが最適な位置にあるか確認してください。 | コントラストボリュームを調整してください。 |

## ■キーボードの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| キーボードが反応しない | 本体装置がディスクサスペンドモードに移行していないか確認してください。 | ディスクサスペンドモードから復帰させてください。 |

## ■外部キーボード／テンキーパッド／マウスの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 外部キーボード、テンキーパッド、マウスが反応しない | 各装置のケーブルは、本体装置のコネクターにしっかり接続されていますか？ | しっかり接続してください。 |
| | 本体装置がディスクサスペンドモードに移行していないことを確認してください。 | ディスクサスペンドモードから復帰させてください。 |

## ■プリンターの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| パラレルプリンターで印刷できない | プリンターのケーブルは、本体装置のコネクターにしっかり接続されていますか？ | しっかり接続してください。 |
| | セットアップユーティリティでパラレルポートの設定が有効になっていますか？ | 応用編3-7節を参照し、Parallel Portの値を正しく設定してください。 |
| | プリンタードライバは、接続されているプリンター用のものですか？ | 接続されているプリンター用のプリンタードライバをお使いください。 |

## ■RS-232C機器の問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| RS-232C機器が動作しない | RS-232C機器のケーブルは、本体装置のコネクターにしっかり接続されていますか？ | しっかり接続してください。 |
| | セットアップユーティリティでシリアルポートの設定が有効になっていますか？ | 応用編3-7節を参照し、Serial 1の値を正しく設定してください。 |
| | RS-232C機器を使用するためのソフトウェアは正しく組み込まれていますか？ | ソフトウェアを正しく組み込んでください。 |

## ■PCカードの問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| PCカードが正しく動作しない | PCカードは、本体装置に正しく取り付けられていますか？ | 応用編1-2節を参照し、正しく取り付けてください。 |
| | ケーブルはPCカードに正しく取り付けられていますか？ | 正しく取り付けてください。 |
| | セットアップユーティリティで、サスペンドモードに移行する設定にしていませんか？（通信系のPCカードのみ） | 応用編3-4節を参照し、サスペンドモードに移行しないように設定してください。 |

## ■赤外線通信の問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 赤外線通信ができない | セットアップユーティリティで赤外線ポートの設定が有効になっていますか？ | 応用編3-6節を参照し、IrDAの値を正しく設定してください。 |
| | 赤外線通信ポートの表面は汚れていませんか？ | 赤外線ポートの表面の汚れを拭き取ってください。 |
| | 通信する赤外線ポート間にケーブル等が置いてありませんか？ | 通信する赤外線ポート間には、何も物を置かないでください。 |
| 間違ったデータが送受信される<br>また、通信を行っていないのに何かを受信する | 直射日光や白熱灯などの光源が近くにありませんか？ | 直射日光や白熱灯などの光源が当たらない場所でご使用ください。 |
| | 赤外線を使用する機器（リモコン、ワイヤレスヘッドフォン等）が近くにありませんか？ | 赤外線通信をするときは他の赤外線機器の使用は避けてください。 |
| | 通信する赤外線ポート間の距離や角度は適正ですか？ | 基本編2-5節を参照し、通信する赤外線通信ポート間の距離や角度を適正にしてください。 |

## ■マイクロフォン、ヘッドフォン、オーディオ機器の問題

| 現　象 | 確認すること | 対処方法 |
|---|---|---|
| 音声が入力できない | マイクのプラグが本体装置のマイク入力端子に正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | マイクの電源は入っていますか？（電源スイッチのあるもの） | 電源スイッチをオンにしてください。 |
| 音声が出力できない | ヘッドフォンのプラグが本体装置のオーディオ出力端子に正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | アンプ内蔵スピーカーのプラグが本体装置のオーディオ出力端子に正しく接続されていますか？ | 正しく接続してください。 |
| | アンプ内蔵スピーカーの電源は入っていますか？ | アンプ内蔵スピーカーの電源を入れてください。 |

# 4-2　エラーメッセージが表示されたら

本体装置を起動すると、ハードウェアなどのチェックが自動的に行われます。エラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージが表示されたら、そのメッセージを紙などにメモしてから対処に移ってください。

以下に、エラーメッセージ（アルファベット順）とその対処方法を示します。

| エラーメッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| Diskette Drive A error | 3.5インチFDD装置のエラーです。<br>3.5インチFDD装置を使用する場合は、3.5インチFDD装置がパラレルポートに正しく接続されていることを確認してください。さらに、セットアップユーティリティでDiskette Aを［3.5" 1.44MB］に設定してください。<br>3.5インチFDD装置を使用しない場合は、セットアップユーティリティでDiskette Aの設定をNot Installedに設定してください。 |
| Extended RAM Failed at offset : nnnn | 増設メモリーの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Failing Bits : nnnn | メモリーの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Fixed Disk 0 Failure | ハードディスクの設定が正しくないか、またはハードディスクの不良です。 |
| Fixed Disk Controller Failure | セットアップユーティリティのAutotype Fixed Diskの項目でEnterを押してください。ハードディスクのタイプ番号が設定されます。 |

（つづく）

（つづき）

| エラーメッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| Incorrect Drive A type | セットアップユーティリティで3.5インチFDD装置の設定が誤っています。<br>セットアップユーティリティでDiskette Aを［3.5"1.44MB］に設定してください。 |
| Invalid NVRAM media type | メモリー（CMOS RAM）の不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Keyboard controller error | キーボードコントローラの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Keyboard error | キーボードの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Keyboard error nn | キーの入力が検出されています。<br>キーを押さないでください。 |
| Operation system not found | ドライブAまたはドライブCに、オペレーティングシステム（OS）がありません。<br>3.5インチFDD装置に、OSのインストールディスクを挿入して電源を入れなおしてください。 |
| Parity Check 1<br>Parity Check 2 | パリティエラーが発生しました。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Press <F1> to resume, <F2> to Setup | 修復可能なエラーメッセージ（セットアップの設定誤り等）が表示されたときに表示されます。<br>F1キーを押すとそのまま本体装置が起動します。F2キーを押すとセットアップユーティリティが起動し、誤りを修正できます。 |

（つづく）

（つづき）

| エラーメッセージ | 対処方法 |
| --- | --- |
| Previous boot incomplete-Default configuration used | ハードウェアのテストが正常に終了しませんでした。このときセットアップが既定値に設定されているものとみなして本体が起動されます。セットアップユーティリティを操作し誤った設定を修正してください。 |
| Real time clock error | タイマーICの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| Shadow Ram Failed at offset : nnnn | メモリーの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| System battery is dead-Replace and run SETUP | メモリー（CMOS RAM）バックアップ用バッテリーの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| System cache error-Cache disabled | キャッシュメモリーの不良です。このときキャッシュメモリーは無効になります。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| System CMOS checksum bad-run SETUP | メモリー（CMOS RAM）の内容が不正です。<br>セットアップの設定を再度行ってください。 |
| System RAM Failed at offset : nnnn | メモリーの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |
| System time error | タイマーICの不良です。<br>お買い求めの販売会社、または別に添付されている問い合わせ窓口にご相談ください。 |

# 付　録

# アドレスと割込みテーブル

■システムメモリーマップ

| アドレス範囲 | 定義 | 機能 |
|---|---|---|
| 000000~09FFFF | 640KB メモリー | ベースメモリー |
| 0A0000~0BFFFF | 128KB<br>ビデオ RAM | グラフィックスディスプレイ<br>バッファに予約済み |
| 0C0000~0CBFFF | ビデオ RAM | ビデオ BIOS |
| 0E0000~0FFFFF | 64KB システム ROM | システム BIOS |
| 100000~FFFFFF | 拡張メモリー 15MB | 標準メモリー 16MB |
| ~17FFFFF<br>~1FFFFFF<br>~2FFFFFF | 拡張メモリー 23MB<br>31MB<br>47MB | 増設メモリー 8MB<br>16MB<br>32MB |

付録

■割込みレベル

| プライオリティ | 割込み No. | 割込み要因 |
|---|---|---|
| 1 | SMI | パワーマネージメントユニット |
| 2 | NMI | パリティエラー発生、I/Oチャネルエラー |
| 3 | IRQ0 | タイマー、カウンタ0出力 |
| 4 | IRQ1 | キーボード |
|  | IRQ2 | 割込みコントローラ-2のカスケード接続 |
| 5 | IRQ8 | リアルタイムクロック |
| 6 | IRQ9 | リザーブ |
| 7 | IRQ10 | リザーブ |
| 8 | IRQ11 | リザーブ |
| 9 | IRQ12 | マウス |
| 10 | IRQ13 | リザーブ |
| 11 | IRQ14 | ハードディスクコントローラ |
| 12 | IRQ15 | リザーブ |
| 13 | IRQ3 | IrDA/2F8h（出荷時設定） |
| 14 | IRQ4 | シリアルポート-1/3F8h（出荷時設定） |
| 15 | IRQ5 | パラレルポート |
| 16 | IRQ6 | フロッピーディスク装置コントローラ |
| 17 | IRQ7 | パラレルポート（出荷時設定） |

補足

- シリアルポート、パラレルポート、IrDAの割込みNo.は、セットアップユーティリティで変更できます。応用編3-6，3-7節を参照してください。
- 割込み要因はシステム構成により変わります。

# ハードウェア仕様

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 機種名（モデル名） | | WinBook Trim |
| 型番（タイプ名） | | P2P133 |
| CPU | CPU | Pentium® − 133MHz |
| | 高速演算プロセッサー | CPU に内蔵 |
| メモリー | キャッシュメモリー | 16KB （CPU に内蔵） |
| | ROM | 256KB （システム ROM） |
| | RAM | 16MB |
| | 最大 RAM 容量 | 48MB |
| | ビデオ RAM | 9Mbit |
| 補助記憶装置 | HDD（注 1） | 1.2GB |
| | 外部 FDD | 3.5 インチ FDD（1.44MB/1.2MB/720KB）× 1 を接続可能 |
| ディスプレイ | 表示方式 | DFPassive カラー LCD（VGA™, 7.5 インチ）、輝度調整 / コントラスト調整可能、バックライト付き |
| | 表示色 | 最大 262,144 色 |
| | 解像度 | 640 × 480 ドット |
| | グラフィック・アクセラレーター | PCI バス接続のグラフィックアクセラレーター内蔵 |
| | LCDと外部ディスプレイ<オプション>の同時表示（注2） | 高解像度カラーディスプレイ装置と、LCD との同時表示が可能 |
| 入力装置 | キーボード | OADG 準拠（85 キー）16mm ピッチ、2mm ストローク |
| | ポインティングデバイス(注3) | スティックポインター内蔵 |
| | 外部キーボード / テンキーパッド / マウス | PS/2マウス<オプション>及び外部キーボード<オプション>、テンキーパッド<オプション>のいずれか一つを接続可能 |
| サウンド機能 | 仕様 | Sound Blaster Pro 互換 |
| | 内蔵デバイス | マイク（モノラル）× 1、スピーカー（モノラル）× 1 |
| | 外部インタフェース | マイク入力（φ 3.5mm、モノラル）× 1、ヘッドホン出力（φ 3.5mm、ステレオ）× 1 |
| データ通信機能 | | 赤外線通信ポート標準内蔵（IrDA1.1 準拠） |
| PC カードスロット | | 2 スロット標準装備（JEIDA 4.2/PCMCIA 2.1 準拠、TYPE II × 2 または TYPE III × 1） |
| インタフェース | シリアル（注 4） | 1 チャネル標準装備（RS-232C、9 ピンコネクター） |
| | プリンタ /FDD | 1 チャネル標準装備（25 ピンコネクター） |
| | 外部ディスプレイ（注 2） | 1 チャネル標準装備（15 ピンコネクター） |
| | 外部キーボード/テンキーパッド / マウス | 1 チャネル標準装備（6 極ミニ DIN、キーボード / テンキーパッド / マウス共用コネクター） |
| | マイク | 1 チャネル標準装備（φ 3.5mm ジャック、モノラル） |
| | ヘッドフォン | 1 チャネル標準装備（φ 3.5mm ジャック、ステレオ） |

付録

## ハードウェア仕様

| セキュリティ | | パワーオン・パスワード機能 |
|---|---|---|
| システムパネル | | 電源ランプ、バッテリーランプ、ハードディスクランプ、Num Lock ランプ、Caps Lock ランプ、Scroll Lock ランプ |
| スピーカー | | あり（モノラル） |
| カレンダー機能 | | 年月日時分秒（電池によるバックアップ） |
| 電源 | バッテリーの種類/個数（注5） | Li-イオンバッテリー（10.8V、1350mAh）、標準で1本内蔵 |
| | バッテリーの駆動時間（注6） | 約1.5時間 |
| | バッテリーの充電 | 本体装置による充電：約3時間 |
| | ACアダプター | AC100V ±10%、50/60Hz ±1Hz |
| 消費電力 | | 最大27W |
| エネルギー消費効率（注7） | | 5.0W |
| 環境条件 | | 温度10~35℃、湿度：20~80%RH（ただし、結露しないこと） |
| 外形寸法（mm） | | A5ファイルサイズ、最大外形寸法：235（幅）× 170（奥行き）× 34（高さ） |
| 本体質量 | | 1.1kg |
| 規格 | | VCCI 第2種 |
| OS | | Microsoft® Windows® 95 |

注1：有効なHDD容量は、サスペンドモード対応のメモリー待避用エリア約50MB程度を除いた容量となります。

注2：同時表示の場合、解像度は640 × 480ドットのみとなります。

注3：キャップは消耗品です。交換用キャップを、2個添付してあります。

注4：RS-232C機器と、FAX/モデムのPCカードは同時利用できないことがあります。

注5：内蔵バッテリーは取り外すことができません。

注6：バッテリー駆動条件：駆動時間は、Microsoft® メモ帳の連続使用、LCD輝度、コントラストは最適：約70nit、パワーマネージメントは工場出荷時の条件下で測定。

注7：省エネ法に基づく表示。

# 索　引

【ソ】



【チ】



【テ】



【ト】



【ナ】



【ハ】



【ヒ】



【フ】

【ヘ】



【ホ】



【マ】



【ミ】



【メ】



【ラ】



【ワ】

## 重要なお知らせ

この活用ガイドに含まれる情報は、事前にお知らせすることなしに変更される場合があります。
本製品ならびにソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
本製品およびソフトウェアの仕様は予告なしに変更することがあります。

## 版権についてのお知らせ



資 料 名　モバイルコンピュータ
*WinBook* **Trim**
P2P133 活用ガイド

資料番号　A9HR0027A <77A0>

1997 年 7 月 20 日　　第 1 版第 1 刷発行

発 行 所
株式会社ソーテック
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1

R12-0M7O-7

*WinBook* **Trim**

活用ガイド

**SOTEC**

A9HR0027A〈77A0〉